

平成28年度
新宿区ひとり親家庭等アンケート調査
結果報告書



子ども家庭部子ども家庭課

平成28年11月

目次

I	調査概要	1
II	調査結果	
	II-1 結果概要	2
	II-2 集計データ	4
	II-3 結果と分析	11
III	自由意見	60
IV	調査票	69

I 調査概要

1 調査目的

この調査は、新宿区のひとり親家庭等におけるニーズや課題を把握し、ひとり親家庭等への支援策の充実を図るための参考とするものである。

2 調査の概要

- (1)調査対象 新宿区在住の児童扶養手当(※)認定者のうち平成28年8月の現況届の提出を求めた者
- (2)標本数 1,902件
- (3)調査期間 平成28年8月1日～平成28年9月9日
- (4)調査方法 郵送配布、郵送及び窓口での回収
(児童扶養手当現況届の案内に同封し配布。現況届時に窓口で回収)
- (5)回収数結果 回収数：958件 回収率：50.4%

3 報告書の見方

- (1) 図表の中のnとは該当質問の回答者数を表している。
- (2) 本文、図表中の百分率(%)は小数点以下第2位を四捨五入しているため、あるいは複数回答のため、数値の合計が100%にならない場合がある。
- (3) 図表作成の都合上、選択肢表記は短縮・省略している場合がある。
- (4) その他回答、悩んでいる理由、自由意見については、明らかな誤字・意味がくみ取れないものを除き、ほぼ原文のまま掲載している。

※児童扶養手当について

児童扶養手当の対象者は、次のいずれかに該当する18歳に達した日以後の最初の3月31日までの児童(児童が中度以上の障害を有する場合は20歳未満の児童)を養育している方である。

- ①父母が離婚
- ②父または母が死亡、生死不明
- ③父または母が重度の障害をもつ
- ④父または母が1年以上の遺棄・拘禁
- ⑤父または母がDV保護命令を受けた
- ⑥母の婚姻によらない出生

Ⅱ 調査結果

Ⅱ-1 結果概要

1 数値調査について

(1) 回答者の基本的属性

年齢は「40代」が46%と最も高く、「30代」「40代」を合わせると約8割であった。

ひとり親になった理由は、「離婚」が72.3%、「未婚」が17.8%となっている。

生計維持については、「就労収入」、「児童扶養手当等」、「貯金」の3項目が高い割合であった。

(2) 回答者の就労状況

「働いている」が86.0%、「働いていない」が12.8%。就労形態は、「正社員」が36.2%、「パート・アルバイト」が32.3%、「非常勤」が14.1%であった。

働いていない理由としては「求職活動中」が27.6%、「自分の健康」が26.8%、「子育て」が20.3%の割合であった。

区のひとり親家庭就労相談については、「相談したことがある」19.1%、「相談したことがない」75.8%であった。

(3) 認知・養育費など

養育費については「定期的に支払われている」が17.8%、「不定期に支払われている」が3.9%であり、「支払いがない」が17.4%、「取り決めなし」が36.7%となっており、全体として養育費が支払われている割合（「定期的に支払われている」「不定期に支払われている」）は約20%であった。

養育費等についての家庭相談の利用に関しては、「相談をしたくない又は相談をする必要がない」が65.9%、その理由としては「相手（子の親）と関わりたくない」が最も高く40.4%、次いで「相手に支払能力がない」が19.9%、「養育費あり」が16.5%であった。

(4) 急な子の預け先

保育園や学童クラブ等の定期的な預け先以外に必要な応じた預け先があるかどうかについての質問に関しては「預け先がある」が47.6%、その内訳として「親・兄弟姉妹」が61.5%と最も高く、次いで「友人・知人」が21.2%となっている。

(5) 困っていること・不安なこと

困っていることや不安なことについては「生活費」が51.6%と最も高く、次いで「住まい」24.7%、「仕事」24.3%、「自分の健康」24.1%とほぼ同じ割合であった。

子どもについての悩みは「子の進路」が28.9%、「教育費」16.6%、「しつけ・育て方」が15.7%となっている。

区の相談窓口の利用希望については、「土日・祝日の利用を希望する」が33.1%、「一か所で相談ができる」が16.5%、「夜間の相談利用」が14.6%であった。

ひとり親家庭への支援情報についての入手方法については「区の広報紙」が27.3%、「区のホームページ」が27.1%であった。

2 まとめ

本調査は、平成28年8月に実施した「児童扶養手当」の現況届の提出時に対象者に協力を依頼し、50.4%の回答を得た。

(1) 就労に関すること

先に示したように、区のひとり親家庭就労相談について約8割弱の人が就労相談を利用していないという調査結果であった。

さらに、「相談していない」と回答した人の中では「相談してみたい」が10.2%、「相談してみたいが時間が合わない」と答えた人が21.2%となっており、「知らなかった」と回答した人の割合も26.3%であった。

(2) 認知・養育費など

養育費については、養育費が定期的に支払われている割合が17.8%であった。養育費等についての家庭相談に関して、「相談したくない又は相談する必要がない」と回答した人のうち、「相手と関わりたくない」と回答した割合が40.4%であった。

(3) 急な子の預け先

ひとり親家庭家事援助者雇用費助成制度については83.6%の人が利用したことが無いとの回答であった。その理由としては、「ベビーシッターやホームヘルパーに抵抗がある」と回答した人が18.3%である一方で、「利用方法が分からない」16.5%、「制度を知らない」と回答した人についても28.1%となっている。

(4) 困っていること・不安なこと

「生活費」に次いで、「住まい」「仕事」「自分の健康」「子育て」の項目について回答した人の割合が高かった。自由記載欄においても「生活費」「住まい」「職場の悩み」「子育てについての将来の不安」の意見のほか、「親の介護等に対する不安」についても意見が寄せられていた。

区の相談窓口の利用については「土日・祝日」、「夜間」、「一か所で相談ができる」といった要望が割合として高い。

II-2 集計データ

世帯の基本情報に関すること

すべての方への設問

問1 あなたのことについて教えてください。

(1) 年齢 ・ (2) 世帯

	20代	30代	40代	50代	60代	無回答	合計	割合
父子世帯		7	14	13	3		37	3.9%
母子世帯	55	278	412	134	4	2	885	92.4%
養育者世帯	1	2			1		4	0.4%
配偶者の障害世帯			4	1		1	6	0.6%
無回答		5	11	9	1		26	2.7%
合計	56	292	441	157	9	3	958	100.0%
割合	5.8%	30.5%	46.0%	16.4%	0.9%	0.3%	100.0%	

(3) 同居者

父	母	祖父	祖母	兄弟姉妹	子	その他	無回答又は同居なし
53	139	27	49	29	877	8	43
5.5%	14.5%	2.8%	5.1%	3.0%	91.5%	0.8%	4.5%

(n=958)

(4) ひとり親になった理由

	死別	離婚	事実婚解消	未婚	その他	無回答
父子世帯	7	25	1	1	1	2
母子世帯	13	660	18	167	4	23
養育者世帯		3		1		
配偶者の障害世帯					3	3
無回答	1	5		2		18
合計	21	693	19	171	8	46
割合	2.2%	72.3%	2.0%	17.8%	0.8%	4.8%

(n=958)

問2 あなたのお子さんについて教えてください。（別居中も含め、年齢別の人数）

	就学前	小学生	中学生	15~17歳	18~19歳	20歳以上	無回答
人数	276	434	250	265	87	98	3
世帯数	253	364	233	247	84	82	3
割合	26.4%	38.0%	24.3%	25.8%	8.8%	8.6%	0.3%

(n=958)

問3 現在の生計は、何によって維持されていますか？（上位3つ）

就労収入	養育費	児童扶養手当等	公的支援	借入	生命保険	年金
798	140	535	1	24	5	5
83.3%	14.6%	55.8%	0.1%	2.5%	0.5%	0.5%
生活保護費	親族からの支援	友人・知人	貯金	その他	無回答	
79	62	4	228	9	15	
8.2%	6.5%	0.4%	23.8%	0.9%	1.6%	

問4 昨年（平成27年1月～12月）1年間のあなたの世帯の手取りの総収入（養育費や手当等全ての収入を含みます）は、どのくらいですか？（○は1つ）

	父子世帯	母子世帯	養育者世帯	配偶者障害	無回答	合計	割合
～50万円未満	5	86	1	2	1	95	9.9%
50～100万円未満	3	96		1	2	102	10.6%
100～150万円未満	7	120		2	6	135	14.1%
150～200万円未満	2	119		1	5	127	13.3%
200～250万円未満	4	116			2	122	12.7%
250～300万円未満	2	110	1		3	116	12.1%
300～350万円未満	4	71				75	7.8%
350～400万円未満	5	43				48	5.0%
400～450万円未満	2	19				21	2.2%
450～500万円未満	1	15			1	17	1.8%
500～550万円未満		11				11	1.1%
550万円以上	1	22				23	2.4%
無回答	1	57	2		6	66	6.9%

問5 あなたの就労状況について教えてください。（〇は1つ）

働いている	働いていない	無回答
824	123	11
86.0%	12.8%	1.1%

(n=958)

「働いている」場合

就労形態は、何ですか？（〇は1つ。2つ以上仕事をしている方は主なもの1つに〇。）

正社員	非常勤	派遣	自営業	パート・アルバイト	その他	無回答
298	116	62	69	266	10	3
36.2%	14.1%	7.5%	8.4%	32.3%	1.2%	0.4%

(n=824)

現在の仕事を続けたいですか？（〇は1つ）

	続けたい	転職したい	無回答
正社員	222	65	11
非常勤	81	33	2
派遣	29	31	2
自営業	57	12	
パート・アルバイト	160	92	14
その他	3	7	
無回答			3
合計	552	240	32
割合	67.0%	29.1%	3.9%

(n=824)

↓
転職したい理由は何ですか（〇は1つ）

収入が よくない	自宅から 遠い	子育てと 両立困難	人間関係	健康上	仕事が 合わない
129	9	15	13	11	4
53.8%	3.8%	6.3%	5.4%	4.6%	1.7%

時間が 合わない	社会保険等が 無い	休みが 取りにくい	その他	無回答
1	8	4	25	21
0.4%	3.3%	1.7%	10.4%	8.8%

(n=240)

「働いていない」場合

理由は何ですか？（〇は1つ）

求職活動中	勉強	子育て	親族の介護	自分の健康
34	9	25	3	33
27.6%	7.3%	20.3%	2.4%	26.8%

条件が合う 仕事がない	求職活動の仕方 が分からない	働く必要が 無い	その他	無回答
2	1	1	10	5
1.6%	0.8%	0.8%	8.1%	4.1%

(n=123)

問6 あなたは、仕事を選ぶとき何の条件を優先して決めていますか？（上位3つまで○）

収入額	自宅に近い	勤務時間	興味・関心	経験がある	技術や資格
507	443	483	209	105	120
52.9%	46.2%	50.4%	21.8%	11.0%	12.5%

社会保険等	子育てに理解	休みが取りやすい	その他	無回答
130	268	136	165	26
13.6%	28.0%	14.2%	17.2%	2.7%

(n=958)

問7 区では、自立支援給付事業として、指定訓練講座の受講費用の助成や国家資格取得の際の経済的支援を行っています。あなたは、この制度を利用したことがありますか？（○は1つ）

利用したことがある	利用したことがない	無回答
85	832	41
8.9%	86.8%	4.3%

(n=958)

↓
利用したいですか？（○は1つ）

利用したい	余裕がない	知らなかった	利用したいと思わない	その他	無回答
129	308	150	126	63	56
15.5%	37.0%	18.0%	15.1%	7.6%	6.7%

(n=832)

問8 区のひとり親家庭就労相談では、就職、転職や資格取得などについて、専門の相談員がご相談に応じています。相談したことがありますか？また、相談したいですか？（○は1つ）

相談したことがある	相談したことがない	無回答
183	726	49
19.1%	75.8%	5.1%

(n=958)

↓
相談したいですか？（○は1つ）

相談してみたい	相談したいが時間が合わない	他機関で相談中	知らなかった	相談したくない	その他	無回答
74	154	15	191	123	81	88
10.2%	21.2%	2.1%	26.3%	16.9%	11.2%	12.1%

(n=726)

問9 養育費は、支払われていますか？ (〇は1つ)

	定期的	不定期	支払無	取決め無し	制度知らない	その他	無回答	合計	割合
離婚	152	31	143	220	10	97	40	693	78.5%
事実婚解消	2			13		4		19	2.2%
未婚	3	3	11	91	5	39	19	171	19.4%
合計	157	34	154	324	15	140	59	883	100.0%
割合	17.8%	3.9%	17.4%	36.7%	1.7%	15.9%	6.7%	100.0%	

(n=883)

問10 区では、家庭相談で、養育費等についての相談ができます。相談をしてみたいと思いますか。 (〇は1つ)

	相談したことがある	相談したい	時間が合わない	相談したくない・不要	無回答
離婚	38	59	85	458	53
事実婚解消	1	4	5	9	
未婚	4	11	22	115	19
合計	43	74	112	582	72
割合	4.9%	8.4%	12.7%	65.9%	8.2%

(n=883)

理由は何ですか？ (〇は1つ)

他機関で相談中	養育費必要無	相談員がどんな人かわからない	相手と関わりたくない	相手と連絡が取れない
8	21	9	235	45
1.4%	3.6%	1.5%	40.4%	7.7%

相手に支払能力無し	養育費あり	その他	無回答
116	96	37	15
19.9%	16.5%	6.4%	2.6%

(n=582)

問1 1 保育園や学童クラブ等の定期的な預け先以外に必要な応じた預け先や利用している制度はありますか？ (○は1つ)

あり	ない	無回答
273	235	66
47.6%	40.9%	11.5%

(n=574)

「あり」の場合、具体的に教えてください。(あてはまるものすべてに○)

親兄弟 姉妹	友人・ 知人	ベビー シッター	ファミリー サポート	一時保育	ショート ステイ	家事援助者 雇用費助成	勤め先	その他
168	58	16	29	14	10	6	23	15
61.5%	21.2%	5.9%	10.6%	5.1%	3.7%	2.2%	8.4%	5.5%

(n=273)

問1 2 区では、ひとり親家庭が一時的に、ベビーシッターやホームヘルパーを雇用する場合の雇用費助成事業(ひとり親家庭家事援助者雇用費助成事業)を行っています。当該事業を利用したことがありますか？ (○は1つ)

利用したことがある	利用したことがない	無回答	合計
28	480	66	574
4.9%	83.6%	11.5%	

(n=574)

理由は何ですか？ (あてはまるものすべてに○)

子が高学年	時間が合わない	シッター利用に抵抗	利用方法が分からない
132	41	88	79
27.5%	8.5%	18.3%	16.5%

他に預け先がある	制度を知らない	その他
88	135	58
18.3%	28.1%	12.1%

(n=480)

問13 現在、あなたが困っていることや不安なことはありますか？（あてはまるもの上位3つに○）

生活費	仕事	住まい	家事全般	自分の健康	子育て	親族の健康介護	自分の結婚	人間関係
494	233	237	45	231	219	108	42	46
51.6%	24.3%	24.7%	4.7%	24.1%	22.9%	11.3%	4.4%	4.8%

ローン借金	子どもの親との関わり	前パートナーつきまとい・暴力	社会からの孤立感	ひとり親家庭への理解不足	特になし	その他	無回答
49	36	12	10	42	121	51	16
5.1%	3.8%	1.3%	1.0%	4.4%	12.6%	5.3%	1.7%

(n=958)

問14 あなた自身のことで心配ごとや悩みごとがあるときに、誰かに（どこかに）相談をしますか？（○は1つ）

相談する	相談しない	無回答
737	156	65
76.9%	16.3%	6.8%

(n=958)

相談する → 誰に（どこに）相談をしますか？（あてはまるもの上位3つに○）

自分の親	自分の兄弟姉妹	友人・知人	ママ友・パパ友	同僚・上司	弁護士
410	218	524	176	121	14
55.6%	29.6%	71.1%	23.9%	16.4%	1.9%

かかりつけ医	民生児童委員	区の相談窓口	法テラス	その他	無回答
39	8	43	7	32	65
5.3%	1.1%	5.8%	0.9%	4.3%	8.8%

(n=737)

相談しない → 理由は何ですか？（あてはまるもの上位3つに○）

相談できる人がいない	時間がない	相談する気がしない	仕事を休めない
60	28	39	21
38.5%	17.9%	25.0%	13.5%

相手に分かってもらえない	相談先が分からない	その他	無回答
12	13	20	18
7.7%	8.3%	12.8%	11.5%

(n=156)

問15 あなたのお子さんのことで、現在悩んでいることは何ですか？（子ども1人につき○1つ、第3子まで）

	小学校入学前	小学生	中学生	15~17歳	18~19歳	20歳以上	無回答	合計	割合
しつけ・育て方	54	72	16	5	2	0	1	150	15.7%
子の将来	19	44	13	21	16	14	2	129	13.5%
子の進路	18	37	61	100	33	28	0	277	28.9%
勉強・学力	2	71	40	19	1	1	1	135	14.1%
健康・障害	12	19	10	6	3	4	0	54	5.6%
子の友人関係	2	6	4	1	0	0	0	13	1.4%
子の不登校・ひきこもり	1	1	10	5	0	0	0	17	1.8%
子からの暴力	1	0	0	0	0	0	0	1	0.1%
子の家事への負担	0	0	0	0	1	0	0	1	0.1%
子育ての精神的負担	5	4	1	3	0	0	0	13	1.4%
子との時間不足	32	25	7	3	2	2	0	71	7.4%
教育費	19	40	33	41	20	6	0	159	16.6%
子の預け先	16	6	0	0	0	0	0	22	2.3%
特になし	39	45	11	21	7	21	1	145	15.1%

(n=958)

問16 子育てで悩みがあるときに、誰かに（どこかに）相談をしますか？（○は1つ）

相談する	相談しない	無回答
779	122	57
81.3%	12.7%	6.0%

(n=958)

相談する → 誰に（どこに）相談をしますか？（あてはまるもの上位3つに○）

自分の親	自分の兄弟姉妹	友人・知人	ママ友・パパ友	同僚・上司	学校	教育相談	子の親
416	202	445	239	103	57	16	9
53.4%	25.9%	57.1%	30.7%	13.2%	7.3%	2.1%	1.2%

かかりつけ医	保育園・子ども園・学童クラブ	区の相談窓口	子ども家庭支援センター	子育てサイト	民生児童委員	その他	無回答
37	51	21	43	11	3	31	3
4.7%	6.5%	2.7%	5.5%	1.4%	0.4%	4.0%	0.4%

(n=779)

相談しない → 理由は何ですか？（あてはまるもの上位3つに○）

相談できる人がいない	時間がない	相談する気がしない	仕事を休めない
60	24	37	18
49.2%	19.7%	30.3%	14.8%

相手に分かってもらえない	相談先が分からない	その他	無回答
21	13	20	7
17.2%	10.7%	16.4%	5.7%

(n=122)

問17 どうしたら、区の相談窓口が相談しやすくなると思いますか？ (〇は1つ)

夜間	土日・祝日	託児	一か所	専門相談	その他	無回答
140	317	44	158	48	65	186
14.6%	33.1%	4.6%	16.5%	5.0%	6.8%	19.4%

(n=958)

問18 あなたは、ひとり親家庭への支援情報をどこから入手していますか？ (あてはまるものすべてに〇)

区の広報紙	区のパンフレット	区のホームページ	区の相談窓口	保育園・学校等
262	125	260	201	54
27.3%	13.0%	27.1%	21.0%	5.6%

子ども総合センター・子ども家庭支援センター	保健センター	親族	友人・知人からの口コミ	テレビ・新聞等
71	13	19	115	9
7.4%	1.4%	2.0%	12.0%	0.9%

SNS・ブログ	インターネットサイト	その他	無回答
8	97	51	163
0.8%	10.1%	5.3%	17.0%

(n=958)

Ⅱ－３ 結果と分析

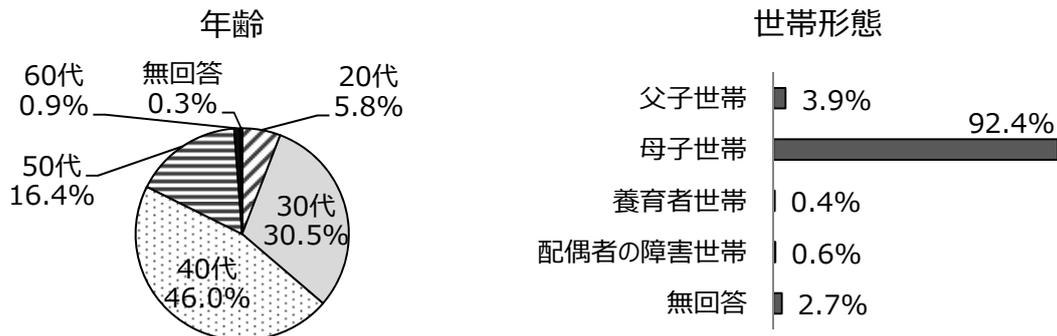
世帯の基本情報に関すること

すべての方への設問

問1 あなたのことについて教えてください。(該当するものに○)

(1) 年齢・(2) 世帯

年齢は、「40代」が46.0%と最も多く、次いで「30代」が30.5%、「50代」が16.4%となっている。
世帯形態は、「母子家庭」が92.4%と9割以上を占めており、「父子家庭」は3.9%にとどまった。また、「母子家庭」「父子家庭」とともに「40代」が最も多いという結果となった。



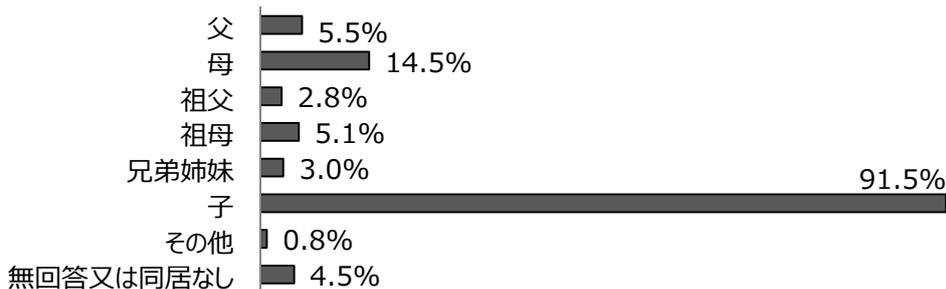
	20代	30代	40代	50代	60代	無回答	合計	割合
父子世帯		7	14	13	3		37	3.9%
母子世帯	55	278	412	134	4	2	885	92.4%
養育者世帯	1	2			1		4	0.4%
配偶者の障害世帯			4	1		1	6	0.6%
無回答		5	11	9	1		26	2.7%
合計	56	292	441	157	9	3	958	100.0%
割合	5.8%	30.5%	46.0%	16.4%	0.9%	0.3%	100.0%	

(3) 同居者

「子」と同居しているひとり親は、91.5%となっている。残りの8.5%については、「無回答」または「別居監護」が考えられる。

「子」以外では、「母」と同居している人が14.5%、「父」と同居している人が5.5%となっている。

※「別居監護」児童と別居していても、児童の監護を継続している場合は児童扶養手当の受給資格が認められる。

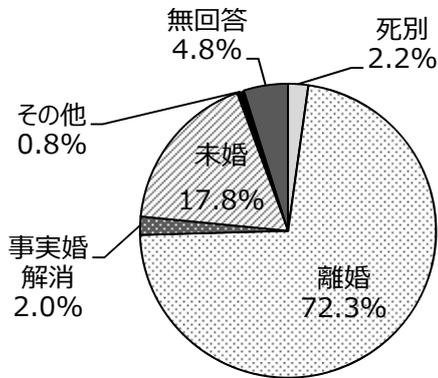


(n=958)

*その他回答：友人女性

(4) ひとり親になった理由

ひとり親になった理由については、「離婚」が72.3%と最も多く、次いで「未婚」が17.8%となっている。「死別」は2.2%であった。



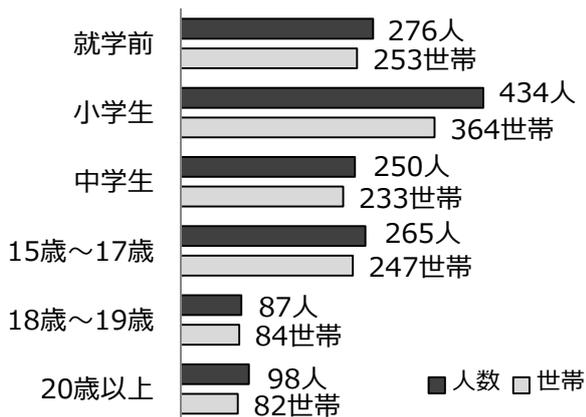
(n=958)

* その他回答
・失踪

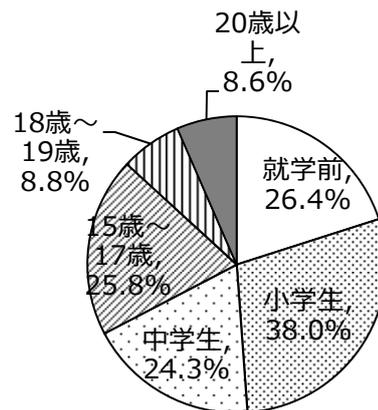
問2 あなたのお子さんについて教えてください。(別居中の方も含め、年齢別の人数)

「小学生」がいる世帯が364世帯と最も多く、38.0%の世帯に小学生がいる。「小学生」の人数は434人となっている。「20歳以上」の子がいる世帯は82世帯あり、8.6%の世帯に成人した子がいることになる。「20歳以上」である子の人数は98人であった。

子の年齢別人数、世帯数

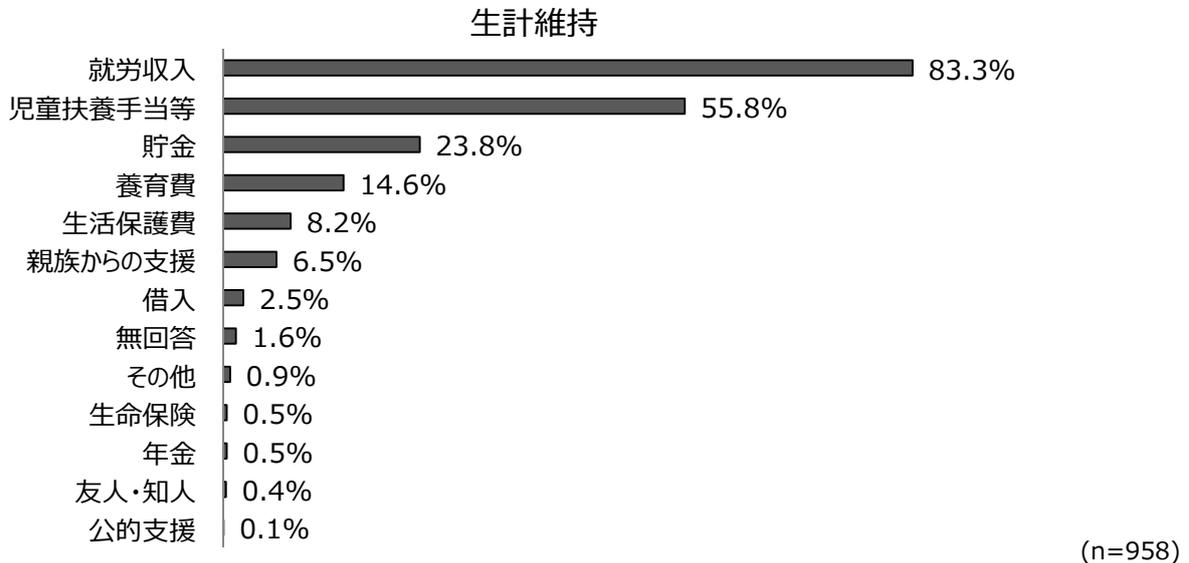


子の年齢別世帯割合



問3 現在の生計は、何によって維持されていますか？（上位3つに○）

生計維持の財源については、「就労収入」が83.3%と8割以上を占め、次いで「児童扶養手当等の公的手当」55.8%、「貯金」が23.8%と続いている。「養育費」については14.6%と全体の4番目であった。

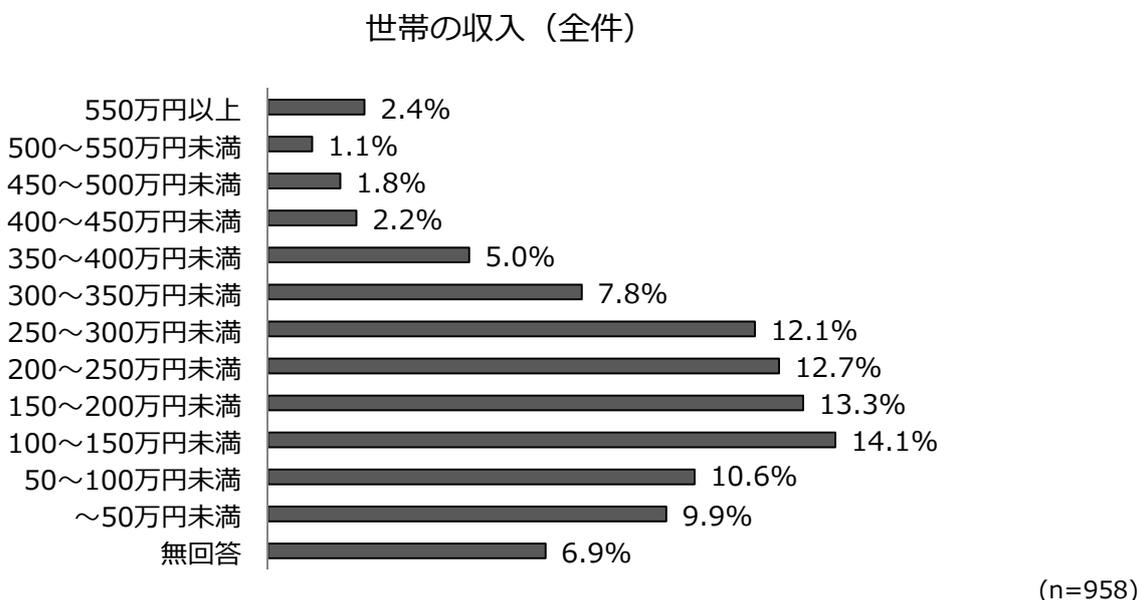


*その他回答

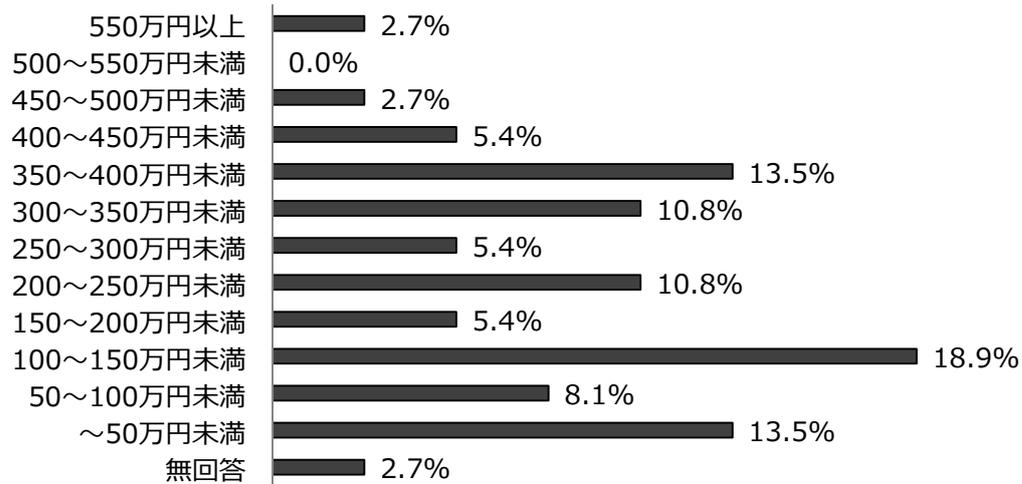
・親と同居、失業保険、家賃収入

問4 昨年（平成27年1月～12月）1年間のあなたの世帯の手取りの総収入（養育費や手当等全ての収入を含みます）は、どのくらいですか？（○は1つ）

1年間の世帯の手取り収入額は、「100～150万円未満」が14.1%と最も高い結果となった。次いで、「150～200万円未満」が13.3%、「200～250万円未満」が12.7%、「250～300万円未満」が12.1%となっており、1年間の世帯の手取り収入額が300万未満と回答した世帯が全体の7割以上であった。一方で「550万円以上」の世帯が2.4%あった。

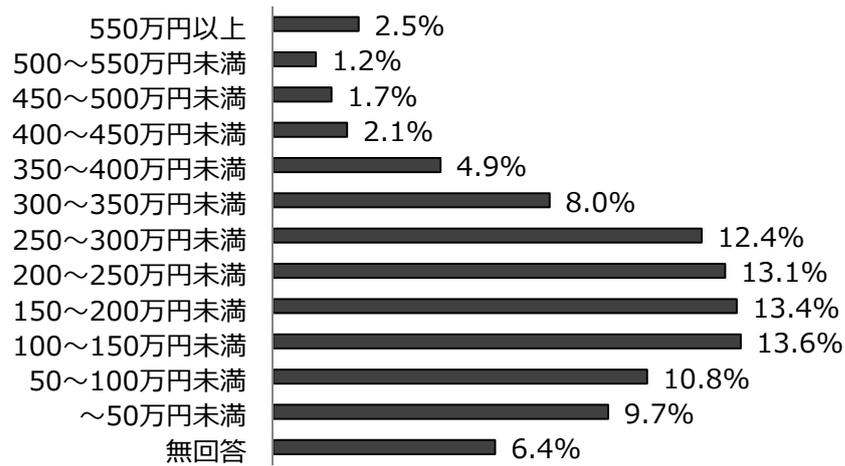


世帯の収入（父子世帯）



(n=37)

世帯の収入（母子世帯）

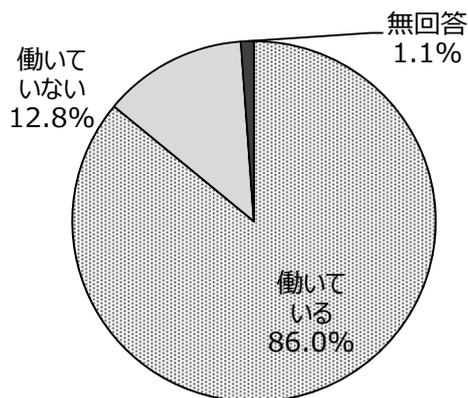


(n=885)

問5 あなたの就労状況について教えてください。（〇は1つ）

就労状況について「働いている」と回答した人が 86.0%である一方で、「働いていない」と回答した人が 12.8%であった。

就労の有無

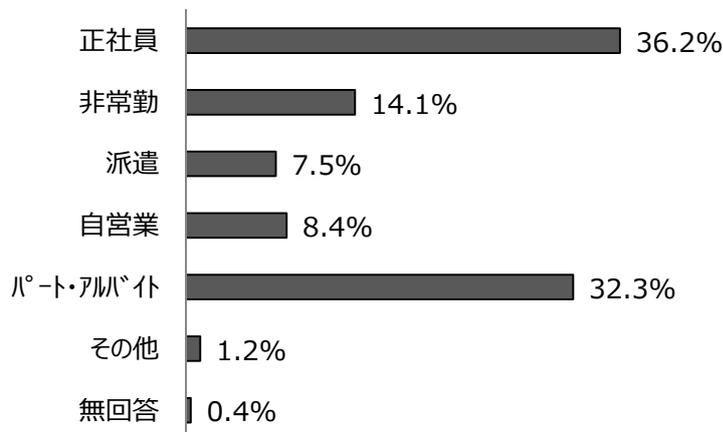


(n=958)

「働いている」場合

就労形態は、何ですか？（〇は1つ）

「働いている」と回答した人のうち、「正社員」が 36.2%、「パート・アルバイト」が 32.3%、「非常勤（契約社員含む）」が 14.1%であった。

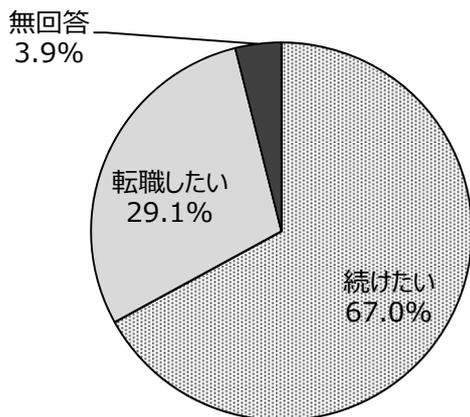


(n=824)

現在の仕事を続けたいですか？（〇は1つ）

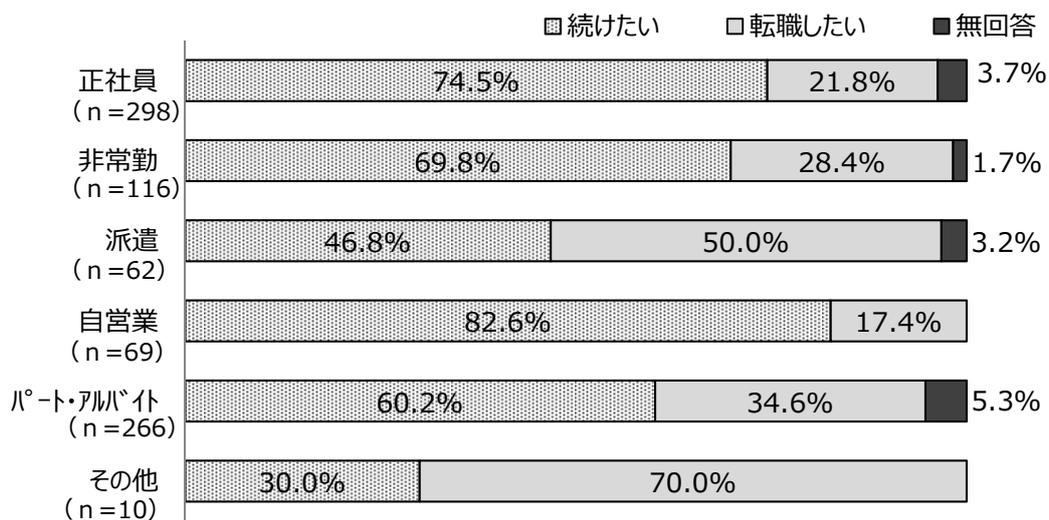
「働いている」と回答した人のうち、現在の仕事を「続けたい」人が67.0%、「転職したい」人が29.1%であった。
 就労形態から見ると、「正社員」・「非常勤」・「自営業」については現在の仕事を「続けたい」と回答する人が多かった。一方で「パート・アルバイト」・「派遣」については「続けたい」と回答した人が全体の67.0%を下回った。特に「派遣」については5割が「転職したい」と回答している。

現在の仕事を続けたいか



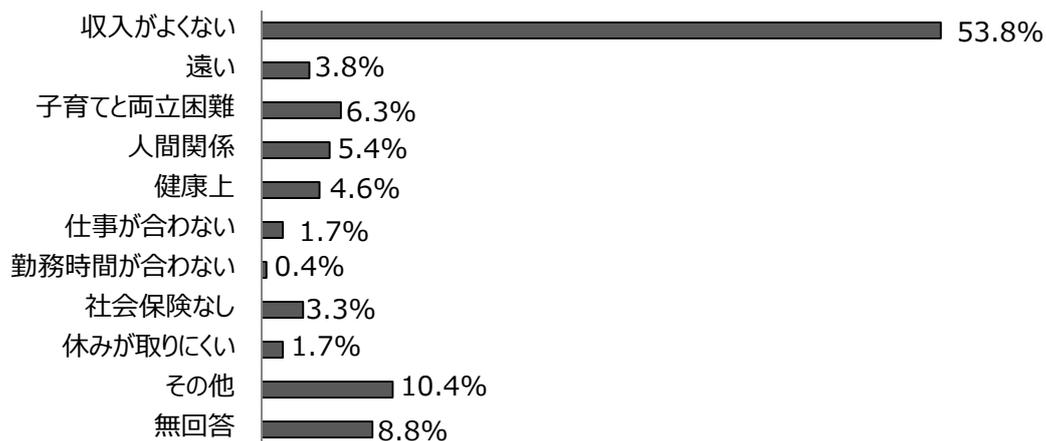
(n=824)

現在の仕事を続けたいか（就労形態別）



「できれば転職したい」理由は何ですか？（〇は1つ）

「収入がよくない」理由により転職したい人が 53.8%となっており、「転職したい」と回答した人のうち、半数以上の人が入収入増を望んでいる結果となった。「その他」を選択した人の回答を見てみると「有期雇用のため安定しない」「正社員になりたい」「保障がない」「業績悪化のため不安定」といった理由が挙げられており、安定し継続できる仕事を望む人が多くみられた。



(n=240)

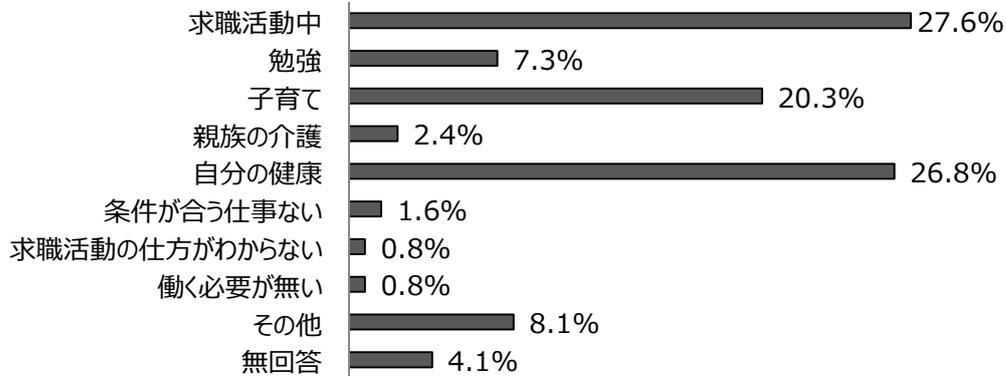
* その他回答

- ・有期雇用のため安定しない。
- ・職場環境がよくない。
- ・スキルアップのため
- ・正社員になりたい。
- ・営業ノルマがあり長く続けるのはきつい。
- ・業績悪化のため不安定
- ・保障がない。
- ・子どもと接する時間がほしい。
- ・経営者のセクハラ。
- ・現在ダブルワークのため。

「働いていない」場合

働いていない理由は何ですか？（〇は1つ）

働いていない理由について、「求職活動中」が 27.6%、次いで「自分の健康上の理由」が 26.8%となっており、以上の理由により働いていない人が 5 割を超えている。また、「子育てのため」働いていないと回答した人は 20.3%であった。



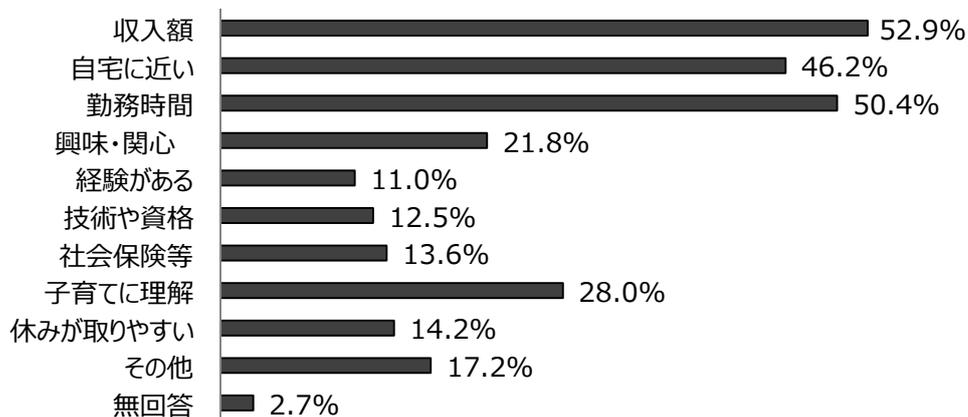
(n=123)

* その他回答

- ・保育園が高額で預けられない。公立の安価な保育園は倍率が高く、入れなかった。
- ・派遣法の改正により、3年以上働けないため。

問6 あなたは、仕事を選ぶとき何の条件を優先して決めていますか？（上位3つまで〇）

仕事を選ぶ際の優先条件として、「収入額」が 52.9%と最も高く、次いで「勤務時間」50.4%となっており、5 割を超える人が「収入額」「勤務時間」を優先して仕事を選んでいる。また、「自宅に近い」についても 46.2%の人が優先条件として挙げている。「子育てに理解がある」については 28.0%であった。



(n=958)

* その他回答

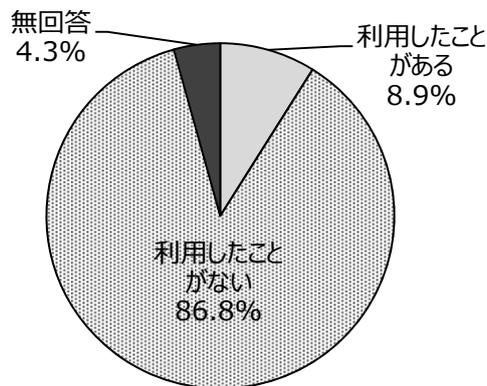
- ・勤務時間
- ・職場の雰囲気
- ・職場で働く人の人間性
- ・正社員
- ・現在の職場をやめるつもりはない。
- ・収入以外の条件は、ひとり親だと優先したくても優先できない。
- ・親の手伝いをせざるを得ない。
- ・そんな余裕はない。

問7 区では、自立支援給付事業として、指定訓練講座の受講費用の助成や国家資格取得の際の経済的支援を行っています。あなたは、この制度を利用したことがありますか？また、利用したいですか？

自立支援給付事業を「利用したことがある」と回答した人は8.9%と1割に満たなかった。「利用したことがない」と回答した人のうち「利用したいが余裕がない（金銭的・時間的含む）」と回答した人が全体の37.0%を占めた。一方で「知らなかった」と回答した人が18.0%であった。

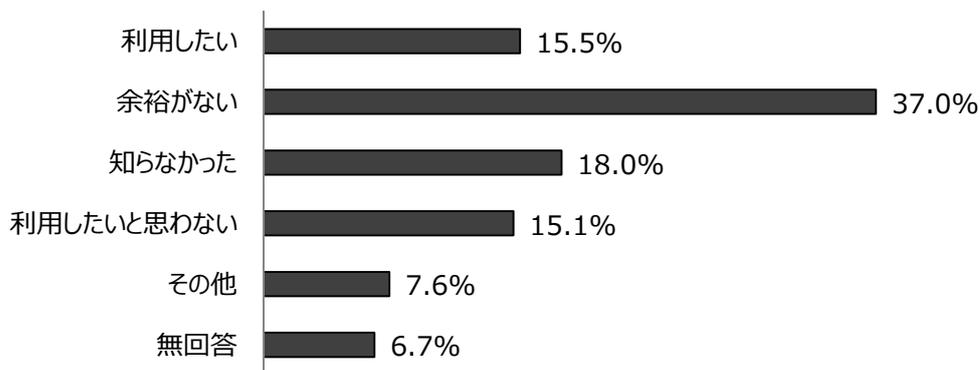
また、「利用したい」が15.5%、「利用したいと思わない」が15.1%となっている。「利用したいと思わない」理由として、「現在の仕事を続けるため」「すでに資格を持っているため」といった回答が多く見られた。一方で「自分の取りたい資格が対象外だから」「資格の内容が乏しい」といった意見も見られた。

自立支援給付事業利用の有無



(n=958)

自立支援給付事業を利用したいか



(n=822)

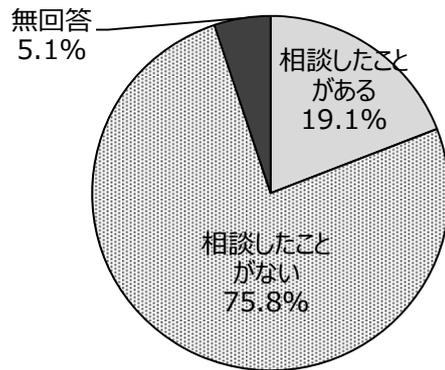
* その他回答

- ・この支給額では暮らせない。
- ・現在の仕事で困っていない。
- ・すでに資格を持っている。

問8 区のひとり親家庭就労相談では、就職、転職や資格取得などについて、専門の相談員がご相談に応じています。相談したことがありますか？また、相談したいですか？

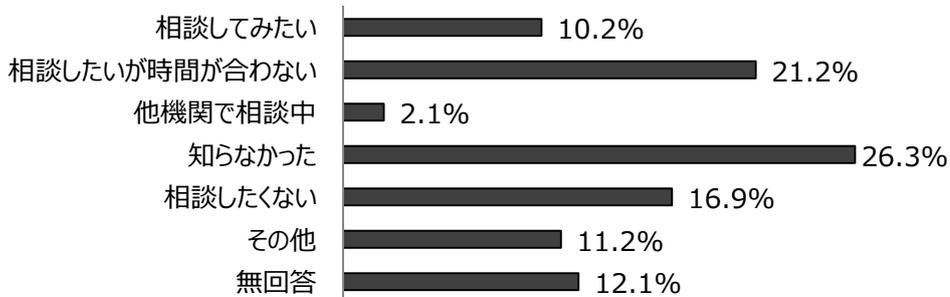
就労相談について、「相談したことがある」と回答した人は19.1%であった。
 「相談したことがない」と回答した人のうち就労相談のことを「知らなかった」人が26.3%と最も高い割合を占めている。次いで「相談したいが日中仕事をしているので時間が合わない」人が21.2%であった。
 一方で「相談してみたい」と回答した人は10.2%と1割程度にとどまった。
 「相談したくない」理由としては、「今の仕事に満足している」「必要がない」と回答する人が多くみられた。一方で「あまり期待できない」「時間の無駄」といった意見も見られた。

就労相談をしたことがあるか



(n=958)

就労相談したいか



(n=726)

* その他の回答

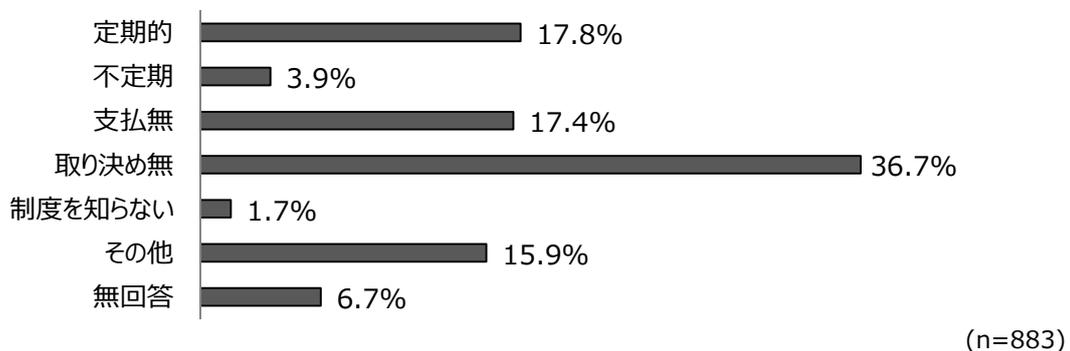
- ・親または子の介護のため就職が困難。
- ・今の就労で満足・現状は問題ない。
- ・年齢的に転職は厳しい。
- ・区役所の方が役に立つ情報を持っているか疑問。
- ・実際に就職につながるのなら相談したい。
- ・してみたいが、専門的なことも対応してくれるのかわからず。
- ・資格をとる時間・お金がない。
- ・ハローワークで相談したことがあるが、希望通りの仕事が見つからなかった。決まらなかったのも同じと思う。
- ・家業を手伝っている。
- ・独立支援等を相談ができる所がほしい。

問9 養育費は、支払われていますか。(〇は1つ)

養育費について「取決めをしていない」と回答した人が36.7%と最も高かった。次いで、「定期的に支払われている」17.8%、「取決めをしているが、支払われていない」が17.4%となっている。

「その他」については、「連絡先・居場所が分からない」「連絡を取りたくない」「相手に支払い能力がない」といった回答が多くみられた。また、「関わりたくないため養育費を受け取らないという取り決めをした」といった回答も見られた。

養育費の支払い



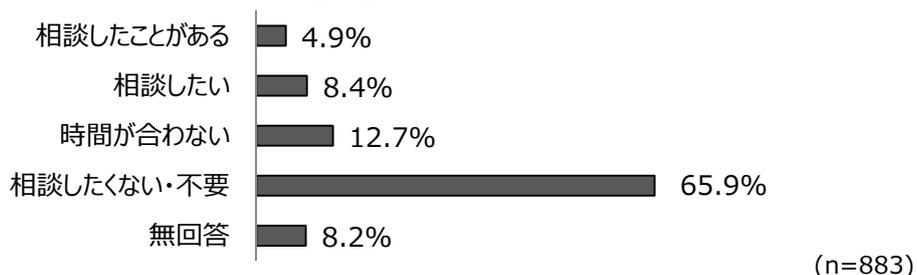
* その他回答

- ・連絡先・居場所が分からない。
- ・連絡を取りたくない。
- ・相手に支払い能力がない。
- ・相手と関わりたくないため養育費を受け取らない取り決めをした。
- ・子どもが生まれたことを相手が知らない・未認知

問10 区では、家庭相談で、養育費等についての相談ができます。相談をしてみたいと思いますか。(〇は1つ)

養育費に関する家庭相談について「相談をしたくない又は相談をする必要がない」と回答した人が65.9%と最も高かった。「相談をしたいが日中仕事をしているため時間が合わない」が12.7%、「相談をしてみたい」が8.4%となっている。「相談をしたことがある」人は全体の4.9%にとどまった。

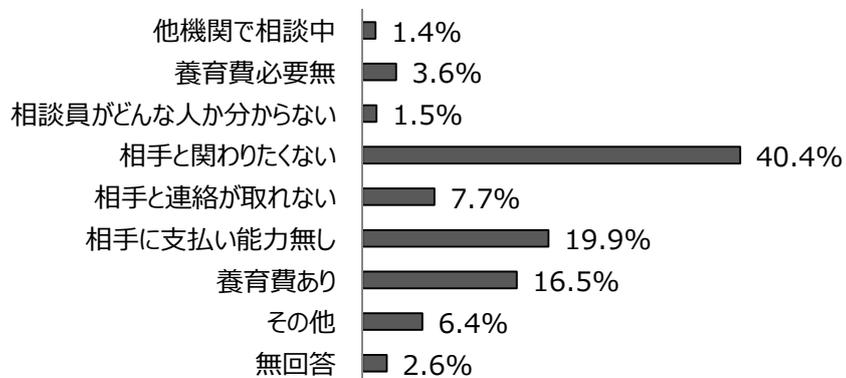
家庭相談をしてみたいか



相談をしたくない又は相談をする必要がない理由は何ですか？（○は1つ）

養育費について家庭相談を希望しない理由として、「相手と関わりたくない」が 40.4%、「相手に支払い能力がない」が 19.9%、「養育費が支払われている」が 16.5%となっている。

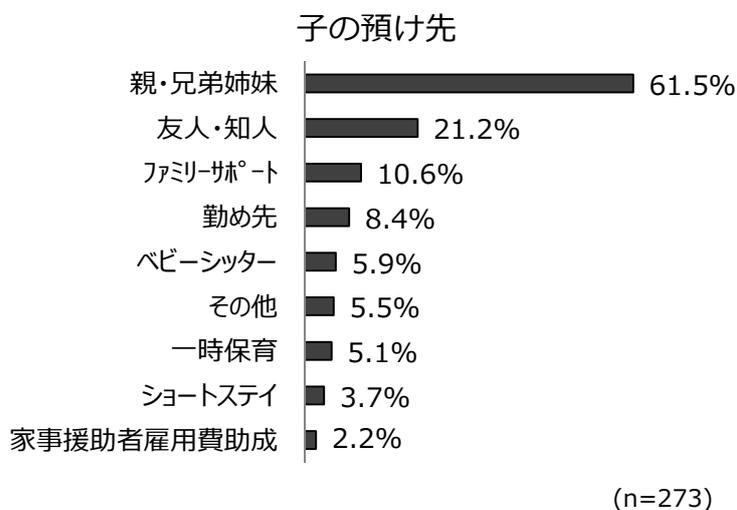
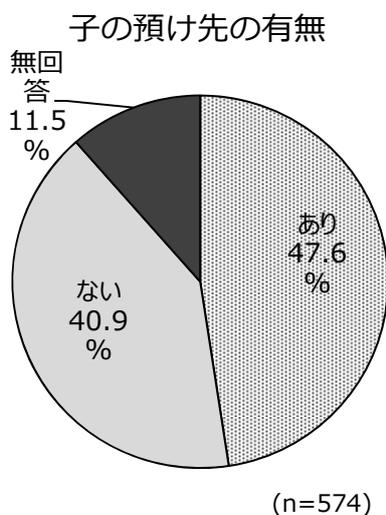
家庭相談をしたくない理由



(n=582)

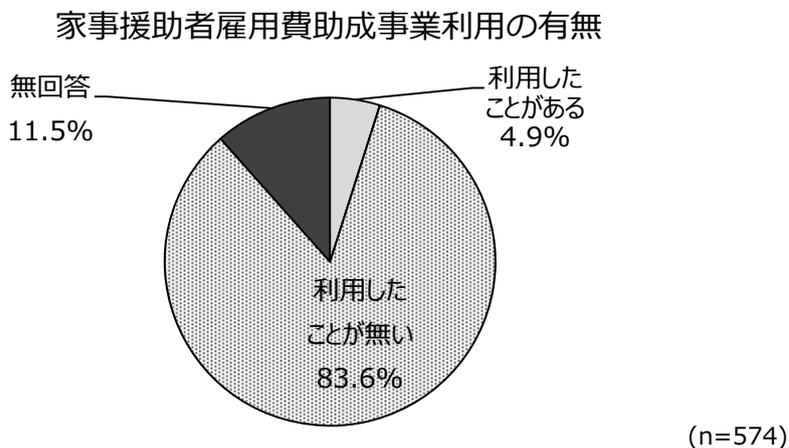
問 1 1 保育園や学童クラブ等の定期的な預け先以外に必要な応じた預け先や利用している制度はありますか？

定期的な預け先以外に、子の預け先が「ある」と回答した人は 47.6%、「ない」と回答した人が 40.9%であった。
 子の預け先として「親や兄弟姉妹」が 61.5%となっており、次いで「友人・知人」21.2%、「ファミリーサポート」10.6%であった。「ひとり親家庭家事援助者雇用費助成事業」については 2.2%となっている。



問 1 2 区では、ひとり親家庭が一時的に、ベビーシッターやホームヘルパーを雇用する場合の雇用費助成事業（ひとり親家庭家事援助者雇用費助成事業）を行っています。当該事業を利用したことがありますか？（〇は1つ）

就学前又は小学生がいるひとり親家庭のうち、ひとり親家庭家事援助者雇用費助成事業を「利用したことがある」と回答した人は 4.9%にとどまり、1割に満たなかった。



利用したことがある方

良かった点・悪かった点があれば教えてください。

○良かった点

- ・通学（資格取得）でお世話になりました。
- ・仕事していたので大変たすかりました。
- ・突然の出張の時に助かりました。
- ・援助を受けて大変助かりました。
- ・経済的には非常に助かった。
- ・金額がとても安く、保育士の資格を持った人がシッターをしてくれた。
- ・安価で利用できる点
- ・子育てに慣れている方に来てもらい、安心して預けられた。
- ・ヘルパーさん（障害者の窓口）利用でとても助かる。
- ・安心して預けられる点
- ・安心して就労、就学ができた結果、今があります。感謝しております。

○悪かった点

- ・急には利用できない。
- ・急病時には利用しづらい。
- ・かなり前から予約が必要だったこと。
- ・当日の急な体調変化に対応できないため
- ・当日の熱や病気の対応がなく役に立たない。
- ・すぐに利用できない点
- ・利用するのに時間と手間がかかりすぎる。窓口の担当とは二度と接したくないほどイライラした。
- ・制度の枠にあてはめが必要であること
- ・申し込みが2日前までで、急な利用ができない。
- ・利用するための理由等に決まりがあったような。それをクリアすることがあまりない。
- ・断られることもあり、困った。
- ・ヘルパーさんがNGになった時（相手先にキャンセル料発生するため、当日NGはきつい）
- ・重度の障害があるため対応できる人が少ない。
- ・利用する事業所によって色々変わる。支払い方法、昼食の用意など前もって早めに連絡しないと、人がいないこともある。
- ・お願いしたことをどこまでやってもらっていいかわからなかった。
- ・利用していたベビーシッターの業者が選定から外れていた。他の業者の登録作業が大変で利用できてない。フォーレンスのように、病児で当日利用できる業者を選んでほしいです。
- ・ミスを正直に報告してくれなく、不信感が募った。
- ・やはり他人なので気を遣い疲れてしまう。
- ・変な人が多いので預けたくないのが現状。危ない。

利用したことがない方

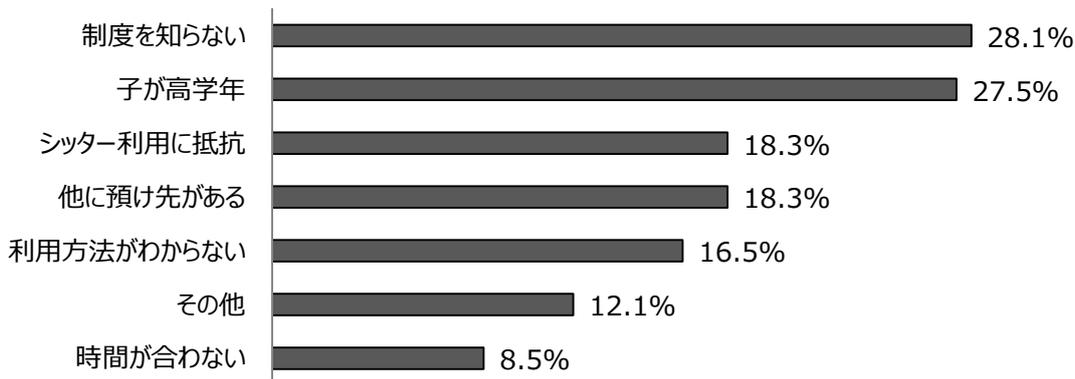
「利用したことがない」理由は何ですか。

ひとり親家庭家事援助者雇用費助成事業について「利用したことがない」と回答した人のうち、28.1%が「制度を知らなかった」、16.5%が「利用方法が分からない」と回答している。

「子が高学年であり、ベビーシッター等が必要でない」と回答した人が 27.5%であった。

「ベビーシッター等を雇用することに抵抗がある」「他に預け先があるためベビーシッター等が必要でない」との回答も 18.3%みられた。

家事援助者雇用費助成事業を利用したことがない理由



(n=480)

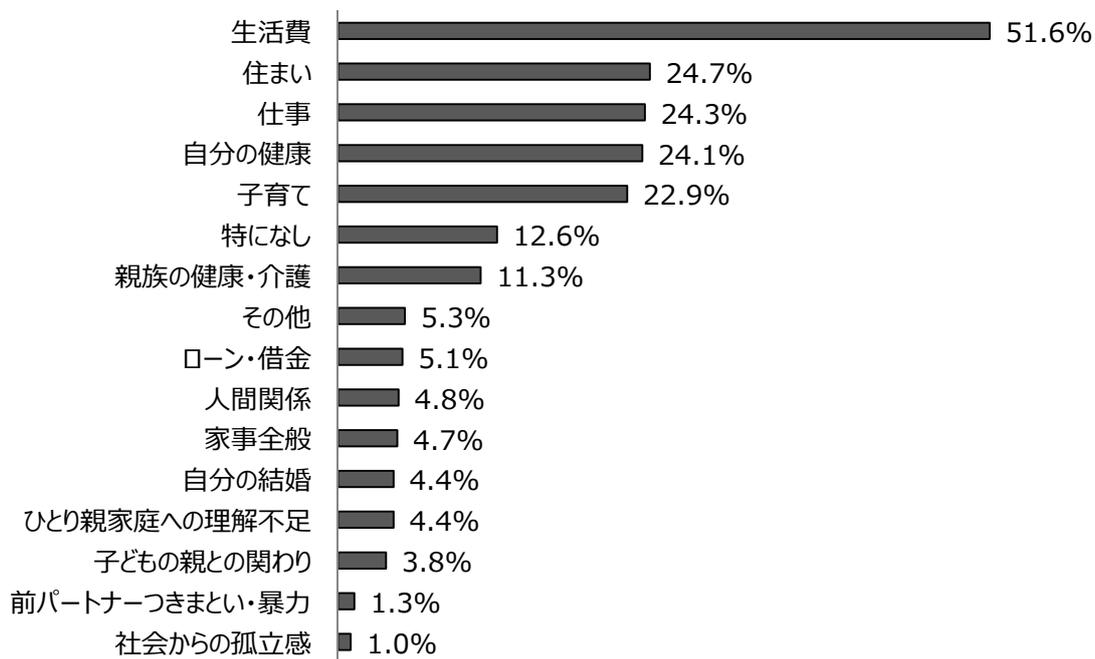
*その他回答

- ・急な利用に対応していない
- ・手続きに時間がかかる
- ・費用が高額
- ・心配で預けられない
- ・子どもが病気を持っている
- ・自宅に入られたくない
- ・他人に関わってほしくない
- ・親族等が見てくれるので必要性がない

問 13 現在、あなたが困っていることや不安なことはありますか？（あてはまるもの上位3つに○）

現在困っていること・不安なことについて「生活費」と回答したひとり親が 51.6%と過半数を超えている。また、「住まい」「仕事」「自分の心身の健康」についても約4人に1人のひとり親が困っている又は不安に感じている。

困っていること・不安なこと

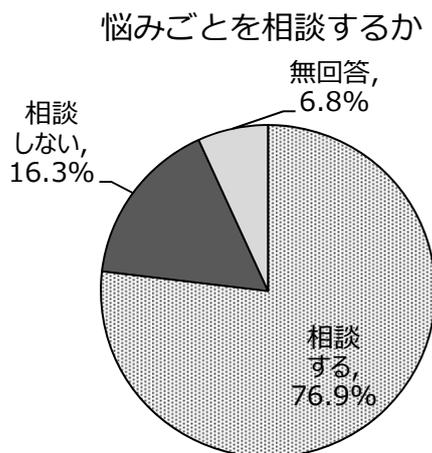


(n=958)

*その他回答

- ・学費（現在も将来も）
- ・教育費の返済
- ・子供の教育
- ・こどもの教育について（外国人親）
- ・夜の子供の預ける費用
- ・仕事に時間をとられ、子供との時間が少ない
- ・子供（男5歳）の成長過程で、男性の力が必要になるときがくるのではないか心配です
- ・子供の健康面（持病がある）
- ・自分の老後の用意
- ・滞在ビザの問題・今後の子供の事（住民票等について）
- ・同居の弟が働かない。
- ・教育費（大学院や留学費）
- ・子供の進学
- ・教育と進学
- ・子供の行く末
- ・保育園への関わり方、先生等
- ・年頃の子供との関係、障害がある子の行く末
- ・養育費の支払いが不足
- ・将来の不安・貯金したいのに貯まらない
- ・子の進学（高校、大学）の学費
- ・子供の進路、経済的理由で
- ・子どもの学力
- ・子どもの預け先
- ・DV加害者
- ・ネズミが出て、虫刺されがひどい

問 14 あなた自身のことで心配ごとや悩みごとがあるときに、誰かに（どこかに）相談をしますか？（〇は1つ）

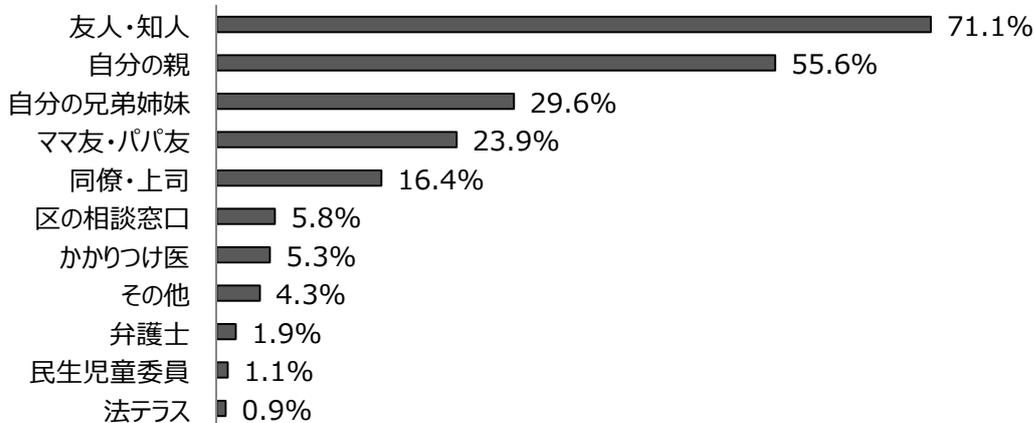


(n=958)

「相談する」と答えた方 → 誰に（どこに）相談をしますか？（あてはまるもの上位3つに〇）

自身の悩みごとを「相談する」と回答した人のうち、「自分の友人・知人」に相談する人が71.1%と最も高く、次いで「自分の親」が55.6%、「自分の兄弟姉妹」が29.6%となっている。一方で「区役所の相談窓口」については5.8%であった。

悩みごとの相談先



(n=737)

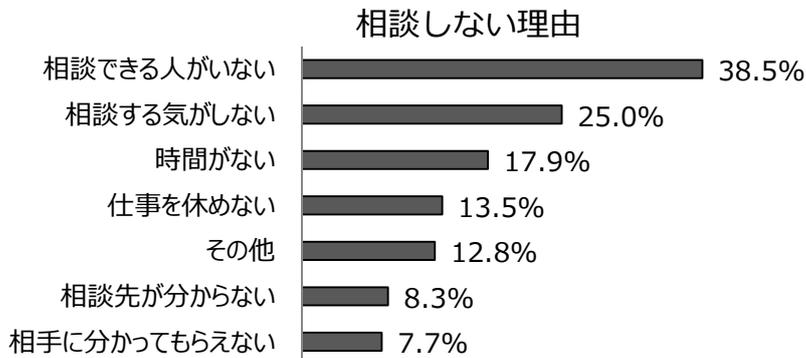
* その他回答

- ・元夫
- ・近隣
- ・その時に応じた窓口
- ・産業カウンセラー
- ・子ども（たち）
- ・いのちの電話
- ・ネット
- ・母子生活支援施設
- ・ベビーシッター
- ・親戚
- ・子どものかかりつけ医
- ・祖母
- ・身内がいけないことが不安

「相談しない」と答えた方 → 理由は何ですか？（あてはまるもの上位3つに○）

自身の悩みごとを「相談しない」と回答した人のうち、相談しない理由は「相談できる人がいない」が38.5%と最も高く、次いで「相談する気がしない」25.0%であった。

また「時間がない」との回答が17.9%、「仕事を休めない」が13.5%となっており、時間等の都合により相談できない人が3割を超えている。「相談先が分からない」については8.3%であった。



(n=156)

* その他回答

- ・相談しても何もならない。
- ・相談してもお金はうまれない。
- ・ひとりで考え込むか、幼い娘と話し合う。
- ・話すと思いだしてつらい。
- ・お金の事なので、誰にも相談しない。
- ・民事に対して、裁判所、警察、国は無能であったため。
- ・相談する程度の内容は、自分で解決した方が結果に納得できる。
- ・相手に申し訳がない。

問 15 あなたのお子さんのことで、現在悩んでいることは何ですか？その理由も教えてください。
 (子ども1人につき〇1つ、第3子まで)

子に関する悩みについて、全体の割合が高い順に、「子の進路」28.9%、「教育費」16.6%、「しつけ・育て方」15.7%であった。

年齢別に見ると、「小学校入学前」「小学生」の子に関しては、「しつけ・育て方」について悩んでいる人が最も多い。「中学生以上」の子に関しては、「子の進路」について悩んでいる人が最も多い。また、「小学生」「中学生」の子に関して「勉強・学力」についての悩みも比較的多くなっている。

	全体	小学校入学前	小学生	中学生	15～17歳	18～19歳	20歳以上
1	子の進路	しつけ・育て方	しつけ・育て方	子の進路	子の進路	子の進路	子の進路
	28.9%	19.6%	16.6%	24.4%	37.7%	37.9%	28.6%
2	教育費	特になし	勉強・学力	勉強・学力	教育費	教育費	特になし
	16.6%	14.1%	16.4%	16.0%	15.5%	23.0%	21.4%
3	しつけ・育て方	子との時間	特になし	教育費	子の将来	子の将来	子の将来
	15.7%	11.6%	10.4%	13.2%	7.9%	18.4%	14.3%
4	特になし	子の将来	子の将来	しつけ・育て方	特になし	特になし	教育費
	15.1%	6.9%	10.1%	6.4%	7.9%	8.0%	6.1%
5	勉強・学力	教育費	教育費	子の将来	勉強・学力	健康・障害	健康・障害
	14.1%	6.9%	9.2%	5.2%	7.2%	3.4%	4.1%
6	子の将来	子の進路	子の進路	特になし	健康・障害	しつけ・育て方	勉強・学力
	13.5%	6.5%	8.5%	4.4%	2.3%	2.3%	1.0%
7	子との時間	子の預け先	子との時間	健康・障害 不登校等	しつけ・育て方 不登校等	子との時間	
	7.4%	5.8%	5.8%	4.0%	1.9%	2.3%	

幼児 (小学校入学前)

1. しつけ・育て方

(第1子)

- ・不満があるとずっと泣いていて困っている。
- ・甘やかしてるつもりはないが、他の子より聞き分けが悪いと思う。
- ・落ち着きがない。
- ・言うことを聞かない。
- ・約束が守れるようにならない。
- ・いやいや期に入ってる為。
- ・幼稚・集団行動が苦手、多動の気がある。
- ・わがままだから。
- ・園で他の子供にたたく等するからです。
- ・ミルクの量が増えない。
- ・言葉の発達が遅いため。
- ・ちゃんとした大人になってくれるか心配。
- ・自分自身のようになってもらいたくない。
- ・厳しくしてしまいやすい。
- ・一人なので怒ったり優しくしたりのバランスがわからない。
- ・どこまで許していいのか判断が難しい。
- ・きつく叱ってしまう。自分の不満のはけ口になっていないのかと不安になることがある。
- ・一人でうまくやれてるか。
- ・子供のほうが日本語を上手に話せるようになると不安 (親の立場がなくなる)。
- ・小学校になると 19:00 までになるので。
- ・仕事と子育て両立で一人で大変でした。
- ・男の子なので男親がいないことで偏った部分が出てしまうのではないかと心配してます。
- ・父親がいないため。
- ・父親不在をこの先聞かれた時の説明等。
- ・父と一緒に生活しています。
- ・元夫と同居中、定期的な面会をしたい。

(第2子)

- ・かんしゃくがひどい。
- ・言う事聞かない。相談できる身内がいない。
- ・父親がいないため少し甘やかしてしまったかもしれない。
- ・過ごす時間が少ないかなと感じている。
- ・なるべく好きな事をさせたいが、上の子の事で手一杯になってしまう事が多い。

2. 子どもの将来

(第1子)

- ・これからの生活費。
- ・現在の家賃が高すぎて生活費、都営、区営ずっと落選。
- ・教育費、習い事をするゆとりがない (お金の面と時間)。
- ・進学の際の学費の事や、精神面の事。
- ・金銭面や自分が病気になってしまったらという不安から。
- ・今の状況でどこまで進学させてあげられるか。
- ・どのように、導いてあげたらよいかわかりません。
- ・どうやって育てていけば良いか不安。
- ・ひとり親なので今後どう影響するか不安。
- ・ひとり親のため、自分が働きに出る必要があり、子どもと過ごす時間の不足がある。進学塾の費用は高く、学校の勉強をしても、他の子との差は開く。塾へ行かないと進学の道も狭まり、精神的な負担も多く予想される。学力がすべてではないが、現社会では進学した学校によって将来の可能性や人との出会いが制限されるので将来が不安。
- ・子供が発達障害グレーゾーンであるため。

(第2子)

- ・将来高校大学を行かせてあげられるか不安。

3. 子どもの進路

(第1子)

- ・休みたいとき預ける先ない。
- ・小学校をどこに行かせるか、出勤時間が早いので登校させるのが不安である。
- ・小学校入学についてよくわからない
- ・就学前だから。
- ・必要なお金がたまらない。
- ・この先学費などお金が必要になるので。
- ・今後、中・高・大と進学時に必要な金額を用意できるか？金銭的理由で断念させてしまうのではないか、今から不安です。
- ・幼稚園受験を控えているため。
- ・私立小受験に際し、母子家庭が不利になる。
- ・親が日本語が知らない
- ・自分が外国人のため子供の言葉等の問題。
- ・小学校受験 or 小学校入学前に転居を検討中。

4. 勉強・学力

(第1子)

- ・帰宅が遅いので。

5. 健康・障害

(第1子)

- ・よく食べるので、肥満を気にしている。
- ・平均より身長が低い。
- ・ネフローゼ症候群で。
- ・3歳だがまだ言葉が出ない。
- ・発達障害の疑い。
- ・ADHDと診断されたため小学校に通えるか不安。
- ・父親がADHDなので遺伝等を心配してる。

(第3子)

- ・生後すぐから入院し、そこからほぼ毎日病院通いの他。

6. 子どもの友人関係

(第1子)

- ・不登校だった長男が新しい幼稚園に入って友達ができなくて、毎日イヤイヤでした（学校いくのを）。
- ・寂しさからか寝るときに指しゃぶりをする。それが理由か定かではないが、お友達にくさいと言われてしまっている。

7. 子どもの不登校・ひきこもり

(第1子)

- ・ひとり親でいじめられないか。

8. 子どもからの暴力

(第1子)

- ・たたかむ ける おもちゃ投げる

10. 子育ての精神的負担

(第1子)

- ・アトピーでかゆみに看病が続く時、発狂しそうになる。
- ・通勤が長いと、一日を一緒に過ごす時間が少ない。

11. 子どもと過ごす時間の不足

(第1子)

- ・働いてるから。

- ・毎日朝から晩まで仕事で遊んであげる時間がない。
- ・仕事が忙しいため。
- ・仕事の時間外勤務が多いため。
- ・フルタイムで仕事をして家事等をする子供と一緒に過ごす時間がない。
- ・仕事が長時間のため。
- ・職場は近いが、正社員のため、時間が足りない。
- ・仕事でなかなか時間が合わない。
- ・休日でも仕事の連絡が多い。
- ・仕事の時間がながいので。
- ・仕事の終業時間が遅い。
- ・仕事で預ける時間が多い。
- ・帰宅が 19:30 ですぐ寝る時間になってしまうため。
- ・19 時半にお迎えなので夜ゆっくり過ごしてない。夜更かし気味になってしまう。
- ・普通の生活や環境を与えたいと仕事を頑張るほど、子供と過ごす時間がなくなってしまう。
- ・子供の睡眠時間を 10 時間確保すると、3 時間しかいられない。
- ・小学校に上がった時の支出、家事の時間。

(第 2 子)

- ・仕事の時間外勤務が多いため。
- ・生活費を稼ぐため残業せざるを得ない。
- ・休日でも家事や仕事で充分に関わる時間がない。
- ・帰宅後も早く就寝を考えると時間がない。
- ・預けることが多々あり、夏休み中もさびしい思いをさせている。
- ・とても元気でいたずら子です。

1 2. 教育費

(第 1 子)

- ・収入が少ないため。
- ・収入はその月にすべて消え貯金ができず習い事をさせる余裕がない。
- ・生活が精一杯でなかなか貯金できない。
- ・今の収入でやりたいことをやらせてあげられるか不安。
- ・まわりに塾代を聞いたら不安あり。
- ・習い事をしたくても費用がない。
- ・やりたい習い事が塾が高い。
- ・だんだん成長するにつれてお金がかかる。
- ・教育費についてこれから負担になってくるので。
- ・保育園当たらずに幼稚園に入れた→時間取れず働けない。
- ・私一人でこれから先、子どもと親を支えることが大変。

(第 2 子)

- ・教育費についてこれから負担になってくるので。

1 3. 子の預け先

(第 1 子)

- ・保育園の空きがない。
- ・保育園に入れるかわからない為。
- ・土日に急に用事があって預け先がない。
- ・預け先がなく突然の発熱など対応できない。
- ・急な病気の際、保育園に預けられず仕事を休まなくてはならない。
- ・仕事が夜間のため頼れる病児の預け先がない。
- ・自分が病気になった時の預け先。
- ・夫、夫の両親は連絡取れない。私は親兄弟もおらず親戚もない。自分の病気時等つらい。
- ・来年から小学生になるが学童の預かり時間が保育園よりも短くなるのでどうしたらよいか迷ってる。

(第 2 子)

- ・保育園の空き待ち。

小学生

1. しつけ・育て方

(第1子)

- ・言葉使いや姿勢が悪い。
- ・学校の友人等、人間関係が広がりよくないことも覚えてくるから。
- ・しつけをしてもなかなか思うようには行動してくれない。
- ・子供がイライラしがち、友達との問題で変化
- ・反抗期、性格的なものが合わない。
- ・もう少し精神的に成長してほしい。
- ・粗暴で(父から暴力を受けてたせいか)なかなか治らない。
- ・いじめにあってる。
- ・私一人の考え方で毎日過ごすときに爆発するから。
- ・ついつい怒ってしまう。集中力のなさ、読解力がない。
- ・思春期の第一歩か口答えがひどく、手に負えない時がある。
- ・父親が同居しなくなってから精神的に不安定で、私への反抗がひどくしつけが思うようにはいかないため。
- ・一人で育てているので負担が多く、子供に当たってしまう(すぐ怒ってしまう)。
- ・自分のやり方が正しいか不安になることがある。
- ・最近反抗することが多く、しつけに悩んでいる。
- ・精神面の安定を保ちたい。
- ・子育てに自信ない。これでよいのか不安(2人とも)。
- ・女子なのでわからないこともある。
- ・これから高学年になるので生活環境を変えてあげたい(男児) 1Kで住んでる状況。
- ・心優しい子に育ててほしいから。

(第2子)

- ・すぐ泣いてしまう。
- ・片付けができない、食事のマナーが悪い。
- ・気分のムラが大きい。
- ・空気を読めず、集団で浮いてる事がある。
- ・意志が強すぎて融通が利かない。とにかく言う事を聞かない。おねしょ。
- ・学業ができてない。
- ・小学校に入学したばかりで様々な友人とかかわるが、良い事悪い事を区別できなく、あの子と関わるな等言えない。
- ・父親がいたらいいのに、なぜいないのか等、質問され困る。女親だと少しバカにすることも最近あり悩む。
- ・帰りが遅いので寂しい思いをさせてる。

(第3子)

- ・宿題をやるまでが大変。
- ・学力については塾に通わすお金がない。
- ・パソコン中毒気味、だらしない。

2. 子どもの将来

(第1子)

- ・親として金銭的な理由で不便な思いをさせないか。
- ・今後子供が進みたい方向に思うまま進ませられるか、収入が不安定なので先々が不安。現在の職がなくなったらと考えるといたたまれない。
- ・金銭面のため仕事休めない。勉強に対して意欲力。
- ・ひとり親のため高校へ行くためのお金。
- ・心身共に健康で経済力のある自活した将来を望むが今後中高生と金銭面、サポート(心身)面で心配
- ・私立には行かせられない。
- ・ちゃんと進学できるかどうか。
- ・十分な教育を与えられてるか心配。
- ・教育、しつけが行き届かない。
- ・自分自身の事に追われてちゃんと子育てできていない気がするから。
- ・興味がある事が少ないと感じているため。

- ・障害があるため。
- ・母子 + 発達障害があるため。
- ・発達障害があるため。
- ・幸せに育ててもらいたい。
- ・自分みたいにならないようにと考えている。
- ・子供が将来自分の力で生きていける年齢になるまで私も元気ですごさなければならぬため。
- ・私が死んだら子供はどこを頼っていけばいいのか？

(第2子)

- ・第1子の障害が悪く影響しないか心配。
- ・不登校ではないものの教室外登校が長く発達特性の強い子の社会的理解に労力を割くことが多く多少疲労が重なる。
- ・私に何かあった時、子供たちが安心してしっかりと教育を受けて暮らしていけるか、親がいないことで生活ができなくなるか。

3. 子どもの進路

(第1子)

- ・金銭的不安。
- ・やりたい習い事をさせてあげられない。
- ・周囲が塾に通う子が多いので勉強がついていけるか心配。
- ・まわりは塾に通っている子が多いが、金銭的には通わせられない。
- ・勉強が難しくなって塾代がかかるため。
- ・子供が進学できるよう教育する資金をしっかりと準備できるか。
- ・大学に行かせたいが金の都合がつかなさそうで申し訳ない。
- ・学資不足で良い学校に通わせてやれない。
- ・高校、大学の学費を払うことが困難。でも本人が望むなら進学はさせてあげたいと思うが、無理な現状。
- ・高校や大学受験が心配。
- ・進学
- ・自分が歳をとり体力も落ち、子供にかかる気力、体力、資金面についての不安が常にある。
- ・現在塾に通わせているが、なかなか勉強しない事が悩み。
- ・勉強ができない。
- ・サッカーをしているが金銭的にも学力的にもサッカーの強い学校に進学するのは難しいのではないかと考えている。
- ・苦手分野がある。習い事(塾)行かせたいが余裕がない。いじめがあった。
- ・来年は中学になるので、どの学校に行くかまだ分からない。
- ・特に強い興味をもつものが、見つからない様子。
- ・ADHDのため学校になじめない。

4. 勉強・学力

(第1子)

- ・塾に行かせる費用がない。
- ・教育費にお金が回らない。教える時間もない。
- ・成績があまりよくないので、塾に通わせたいがお金がない。
- ・塾に通わせたいが、金銭的に難しい。
- ・少子化でまわりは一人にお金をかけるせいか、習い事ができてないせいもあり、多少の遅れを感じます。
- ・学力が上がらない。
- ・テストの点あまりよくない。
- ・学力が低い。
- ・テストなどの結果を見て心配になる。
- ・他の子供と比べ遅れている。
- ・全く勉強しない。
- ・勉強についていけない。
- ・勉強ができない。やろうとしない。諦めている。
- ・全然やる気がない。
- ・学力UPしてほしいので。
- ・国語、社会、漢字の学力不足で困ってる(日本の小学校での学習ははじめてです)。

- ・日本語と韓国語を学ぶのが大変。
- ・宿題等見てあげる時間が少ない。
- ・時間をつくって見てあげられないため。
- ・宿題などを見てあげる時間が少ないため。
- ・私がどう教えていいのかわからない。
- ・親が教えようと思っても怒鳴り合いになってしまう。
- ・集中力がない、そのうち治ると思ってる。
- ・仕事の事 子どものことがあまりできない。
- ・障害がグレーゾーンであって、国語の学力が遅れ始めると感じる。
- ・発達障害があるため仕事と子供の関わりのバランスが難しい。塾に行かせるのは経済的に無理。学校の先生に頼るしかないが、個別では難しいのが現状。いじめや引きこもりが心配。

(第2子)

- ・ひとり親のため人的、金銭的不足による負担を子供が負ってるので、勉強にも影響が出てる。
- ・習い事など経済的に余裕がないのでさせてない。
- ・あまりついていけないので、塾などにもっと通わせたい。
- ・塾には行かせられず、勉強を見てやれない。
- ・塾に行かせる余裕はなく自分もじっくりみてあげられない。
- ・宿題等見てあげる時間が少ない。
- ・学校の授業についていけないこと。
- ・字が汚くて、言っても治らない。
- ・学校の勉強についていけない。まわりと段々差が開いてる。本人も自覚し困ってるし、すねている。教える時間もないし、聞く耳を持ってくれない。
- ・放置気味だから。

(第3子)

- ・学力の進みが遅い。
- ・少々文章問題が不得意なので。

5. 健康・障害

(第1子)

- ・低血圧のため朝起きれなく遅刻が多い。
- ・病気のため。
- ・発達障害があり、学び、学童、学校とそれぞれの面談で時間をつくらなきゃいけない。
- ・発達障害があり、将来が心配。
- ・発達障害
- ・発達障害があるが相談しづらい。
- ・周囲に言っても信じてもらえない。

(第2子)

- ・体が小さい。
- ・体調が思わしくなく病院に行く事が多い。
- ・高機能自閉症のため。心房中隔欠損症のため。
- ・発達障害

(第3子)

- ・広汎性発達障害あり、将来すべてが不安。

6. 子どもの友人関係

(第1子)

- ・自分の意見を言えず悪いことに流されてしまっているのではないかと感じることもある。
- ・意地悪をする子供がいるそう。
- ・学校に行きたくないと言ってる為。
- ・クラスにきつい子がたくさんいるから。

10. 子育ての精神的負担

(第1子)

- ・外国人なので誰に相談したらいいかわかりません

11. 子どもと過ごす時間の不足

(第1子)

- ・仕事が忙しい。
- ・フルタイム、休日出勤もあるので子供との時間がない。
- ・フルタイムで仕事をしている為、帰ってくると雑事に追われてしまう。
- ・生活のために就労時間が長くなっているため。
- ・仕事の都合で早めに出たり、遅く帰ったり休日に仕事の事で家にいないことが多い事です。
- ・就業先によっては、定時帰宅が困難だと予想されるため。
- ・一緒に過ごしてあげたいが仕事の短縮による収入の関係。
- ・学童からの帰宅が遅いため時間が取れない。
- ・仕事で21時過ぎのお迎えのため、望む習い事をさせてあげられない。
- ・子供を起こしてから学校に行くまで時間がなし。
- ・時間の余裕が少ないため。
- ・母子家庭で不足しているのではないか。

(第2子)

- ・早く寝かせようと気にしてる分、余計に時間がない。

(第3子)

- ・ほとんど学童に通わせてるため。

12. 教育費

(第1子)

- ・経済力が及ばない。
- ・収入が少なくやりたいことをさせてあげられない。
- ・現在収入が低いため転職予定。
- ・現在の収入でギリギリなので、今後どれほどかかるのか不安です。
- ・進みたい進路を応援するだけの教育費を支払っていけるかどうか、今の収入では自信がないため。
- ・より良い教育をさせたいと思うとお金が足りない。
- ・将来の学費
- ・将来の教育費
- ・中学校に入ってから教育費が今から不安です。
- ・私立に行かせると厳しい(二人目も考え)
- ・私立にかかる費用など。
- ・子供が中学受験をすと言ってるので。
- ・塾に通うお金は出せないの、ひとり親のためのステップアップ塾に通わせてもらっているが、大学の進学費用を負担できるか難しいです。
- ・塾に通わせてやりたい。周りが皆行っているから。
- ・塾に行かせてるが、現在負担が大きく辞めさせる予定。今後受験に向けて学校の勉強だけで理解してついていけるのか不安。
- ・十分な勉強をさせてあげられない。
- ・自分で勉強を見る時間はなく、習い事をさせるお金もない。
- ・習い事の合宿など。
- ・不安
- ・働いているため送り迎えができない。

(第2子)

- ・兄の進学で貯金等もなくなるため。
- ・習い事をさせてあげたいが余裕がない。
- ・いまはまだ大丈夫だけど。。

13. 子の預け先

(第1子)

- ・ベビーシッターを利用してるが高い。
- ・私以外の親族がいないから。
- ・仕事が長引きそうな時や急な土日などの仕事の依頼の時に預ける先が無いので、仕事を引受けられないこと

- ・子供自身が人と関わりたがらないため、私の仕事の日は毎日一人で留守番です。

(第2子)

- ・小2で一人の時間が多いから。

14. 特になし

(第1子)

- ・順調に育っているため悩みはゼロです。

(第2子)

- ・家族関係は良好

中学生

1. しつけ・育て方

(第1子)

- ・反抗期・反抗期の対応など。
- ・思春期・思春期なので難しい。
- ・思春期、反抗期。
- ・思春期と反抗期が重なって親として対応できない時がある。

(第2子)

- ・思春期なので色々大変。
- ・中1になったことで。
- ・決まりが守れない。時間の観念がうすい。
- ・粗雑なため。

2. 子どもの将来

(第1子)

- ・高校進学のための意思疎通が難しい。
- ・高校進学
- ・大学や専門学校などの学費など。
- ・はっきり定まらないから。
- ・将来を明るいものと捉えてほしい。

(第2子)

- ・親に反発して勉強しない。子育てが不安。

3. 子どもの進路

(第1子)

- ・学費を用意できるか不安。
- ・金銭的に高校へ行かせてあげられるか不安。
- ・私立に行くには経済的に厳しいから、塾に通わせるのもお金がかかる。
- ・大学等の費用面。
- ・大学に行くための塾の費用、大学授業料支払いが心配。
- ・どうやって決めればいいのか、また進学費用なども含め心配。
- ・今、中3なので希望の学校に進学できるか？
- ・受験のため。
- ・来年受験の年になるので。
- ・高校入試のための準備。
- ・受験生なので今まさに最中です。
- ・志望高の絞り込み中。
- ・高校進学ができるか不安。
- ・ちゃんとした進路を選んでくれるか？
- ・受験生で勉強の仕方など不安。
- ・受験必須科目の3教科のテスト結果が悪い。

- ・自主勉強が身につかない。
- ・受験生だがまだ意識が充分でないため。
- ・勉強がやる気ない。
- ・悩んでいるという程でもない、進路について本人が色々考えてる段階、適切なサポートができてるか、少しだけ心配です。
- ・不登校の高校進学について不安。
- ・重度の知的障害があるため。

(第2子)

- ・高校進学、学力不足で公立が難しく、私立の経済的負担が心配。
- ・高校進学の学費、私学になったらお金のことが心配。
- ・公立に受かるかわからない。
- ・受験
- ・大学受験
- ・全く勉強しない。
- ・進学できるのかなと悩んでいる。

(第3子)

- ・お金の余裕がないので、都立を狙っているが学力が足りない。

4. 勉強・学力

(第1子)

- ・勉強ができない
- ・勉強が苦手。
- ・あまりよくないから。
- ・勉強に身が入らず成績が悪い。
- ・勉強嫌い、家庭学習ほとんどせず。
- ・太ってる、勉強できない。
- ・小学生のころの、のんびりさが抜けずに言わないと勉強しない。
- ・勉強、宿題など嫌なことは後回しにする、やらない。
- ・勉強しない。塾の費用など。
- ・来年受験の為、塾に行かせたいが費用がない。
- ・塾に行かせたくても高く行かせられない。自分は仕事で帰ってから見る時間がない。
- ・言葉を覚える前から元夫に虐待されてた。学習障害もあり。

(第2子)

- ・低学力
- ・成績を上げたい。
- ・やる気がないことから。
- ・意欲が全くなく塾もずる休みをしたり、ゲームばかりやりたがる。
- ・高校受験
- ・発達障害

(第3子)

- ・低学力
- ・反抗期に入り口もきかない。
- ・難聴あり不安。

5. 健康・障害

(第1子)

- ・高校受験前のため。
- ・あまり食事をとらない。
- ・現在入院中。
- ・障害があってもひざも弱いため。

(第2子)

- ・ADHDがあるため。
- ・発達障害があるので。

6. 子どもの友人関係

(第2子)

- ・友人との距離感の取り方に悩んでいる。
- ・親友と呼べる友達がいない。

(第3子)

- ・学校からよく連絡があり、ちょっと問題児なため。

7. 子どもの不登校・ひきこもり

(第1子)

- ・中学生になり、学校に半分位しか行けなくなった。
- ・学校に登校してるが教室に入れないでいる。来年高校に行けるか心配。
- ・転校したいと子どもが話す。
- ・不登校で進路いじめ他の理由。
- ・病気のため。

(第2子)

- ・人間関係等により不登校、教師にも問題あり。
- ・中3で高校進学をさせたいが、中学校にはいけない現状。
- ・病気。

11. 子どもと過ごす時間の不足

(第2子)

- ・学校の登校状況を解決できない。

12. 教育費

(第1子)

- ・塾に行かせるお金がない
- ・塾に行かせる余裕がない。
- ・収入が少ないため、教育費の事を心配しています。
- ・大学まで行かせてあげたいが、本当に行かせてあげれるのだろうか？
- ・都立高校に入れなかった場合の教育費。
- ・経済的に大学進学、大学卒業させれるか不安。
- ・高校から先の教育費が不安。
- ・収入が少ないが、都立高への進学が厳しい。
- ・今、中2で都立以外は入れてあげられない。
- ・収入が足りず都立に行けない場合、働かせるしかない。
- ・将来の夢に向かって努力している姿を見受けるが経済的に応じてあげられてない。
- ・受験で塾などの費用、もし高校に入れたらそれからの費用。
- ・高校進学及び塾費用。
- ・塾代、習い事費用がかかる。高校、大学の学費。
- ・今、塾に行かせてるが生活が厳しい。

(第2子)

- ・来年大学入れるため、シングルだからと思われぬよう頑張ってる。
- ・高校受験を控え塾などの費用をどうするか。
- ・習い事をさせたいが、費用もかかるため。
- ・今年受験で都立に行けなかった時、私立に行くため。

(第3子)

- ・次の4月から高校生の予定のため。

15歳～17歳

1. しつけ・育て方

(第1子)

- ・年頃のせい、生活習慣が以前より段々乱れてるのが気がかり。

(第2子)

- ・コミュニケーションをとりたがらない。

2. 子どもの将来

(第1子)

- ・経済的理由で学ぶことができなくなったという不安。
- ・進路を決めた時貯金がないため。
- ・教育費の問題、経済的。
- ・高2でこの先の事が決まってないから。
- ・将来きちんとできるのかと悩んでいる。
- ・親が遅く子を産んでいるため。
- ・ひとり親というリスクがあるので。
- ・障害があり、就職等進路決定時は迫ってる。
- ・自分が病気で余命が一年ほどだから
- ・子どもの自立を願う。不安定な社会情勢に不安感あり。

(第2子)

- ・障害があり先のことすべてが不安。

3. 子どもの進路

(第1子)

- ・金銭面
- ・資金面
- ・私がどれだけ働いていけるか、それに伴って生活面でお金がかかるので子供が学校に通えるか心配です。
- ・大学受験に金銭や学力が不安。
- ・学費
- ・進学させたいがお金が無い(大学)
- ・今後かかる進学の費用のこと。
- ・教育費が用意できるのか不安。
- ・教育費が足りない。
- ・大学受験を控えお金の事。
- ・私大にやる学費がない
- ・進学する専門学校の学費の高さ。
- ・専門学校進学希望だが、支払いが不安。
- ・進路の選択がさせてあげられない(資金がないため)。
- ・本人は就職すると決めているが、経済的なことを考えて進学をあきらめているのでは?と思う。
- ・大学進学を希望してるが、経済的負担が心配。
- ・大学進学
- ・高校受験目前で、この先が色々不安だ。
- ・勉強が足りない。進級が危ない。
- ・本人にあった進路を定めるのが大変です。
- ・ちゃんと大学へ行きその後就職していけるか心配。
- ・まだ具体的に決まってない。
- ・やりたい方向がはっきりしない。
- ・子供が悩んでいるから(進学先)。仕事のため帰宅が遅いため。
- ・勉強しないため。
- ・英語ができなくて。
- ・時間が不足してるので、勉強等みてあげられない。
- ・反抗的な年齢で、口論になりやすい。
- ・いじめで不登校だった時期があったため。

- ・高校の転校。
- ・知的障害
- ・ADHDなので将来就職で大丈夫か？(まだ先ですが)
- ・将来のため。
- ・将来どのような職業に就きたいかがまだはっきり決まってない。
- ・今後の日本経済の不安。

(第2子)

- ・私学なので授業料と部活費が高い。
- ・高校卒業後の就職先。
- ・高校卒業後の進路。
- ・これから進学について考えるから
- ・進学だとお金がかかる、進学して生活していけるか？
- ・大学進学のコスト。
- ・進学させたいがお金がない(大学)。
- ・進学、借金をして進学させるのにも保証人問題などいろいろと一人では大変。
- ・大学入試があるので。
- ・来年大学受験で、合格できるのか心配。

4. 勉強・学力

(第1子)

- ・学校の授業でなんとか頑張ってもらいたい。
- ・学校行ったり行けなかったり。
- ・勉強を見る時間がない。
- ・学業不振で進級や進路に影響しそう
- ・ネットもやっているから。
- ・大学受験を控えている為。
- ・希望する大学に合格できるかどうか？

5. 健康・障害

(第1子)

- ・重度でない中度障害の子は年金ももらえず自立も難しい。金銭面負担が多い。
- ・小児慢性疾患で今は元気だが将来について大丈夫か。
- ・子供が体調崩してる。

(第2子)

- ・現在ひどい貧血があり治療中である。
- ・重度心身障害者で、将来が心配でなりません。

(第3子)

- ・障害のため、進路、将来。

6. 子どもの友人関係

(第1子)

- ・友人関係でいつもつまづく。

7. 子どもの不登校・ひきこもり

(第1子)

- ・親に反抗。
- ・不登校気味、やる気が感じられない。
- ・リストカット、うつ、心療内科通院中。

10. 子育ての精神的負担

(第1子)

- ・親が育った環境の真逆の環境で良いはずがそうではなく難しい。

(第2子)

- ・気難しく親に対し常に非難や批判しかない。

11. 子どもと過ごす時間の不足

(第1子)

- ・母の職場への通勤時間が往復3時間のため早朝から不在がち。

(第3子)

- ・夜帰りが遅いのと休日も仕事のため。

12. 教育費

(第1子)

- ・教育費でお金が回らない。
- ・私立高校の学費の支払が大変。
- ・学費のために働いている。預貯金できない。
- ・私立高に通っていて大学(理系)を希望しているため。
- ・学力つけさせたいが、塾へいくお金がない。
- ・大学まで進学させたいが資金がどこまでもつか? 自分の健康他も含めて心配。
- ・大学進学の学費、私学になったらお金のことが心配。
- ・大学に入るためのお金が厳しい。児童扶養手当が切れるため。
- ・大学進学費用が捻出できない。
- ・大学進学希望してるが、蓄えがなくなつたら。
- ・大学のための準備金がない。
- ・国公立大学の進学が難しいため、学費の負担が大きい。
- ・学費+受験費用
- ・子供が医学部へ行きたいというが学費が高い。
- ・高校を卒業した後の行先によってお金のかかり方が違う。
- ・離婚が原因で子の夢をあきらめさせる訳にはいかない(大学進学の際には国の支援はなくなってしまう)。
- ・大学への進学ができるかどうか不安。
- ・4大進学を考えてる。
- ・私の看病のために定職に就けない。

(第2子)

- ・高校生のため、お金がかかります。
- ・私立高校で部活動にお金がかかるが続けさせてあげたい。
- ・塾代も高いので困る。
- ・国立大学ならどうにか学費を払えるが、私立だと困難。

(第3子)

- ・このままだと進学できるのか?
- ・大学の学費負担。

18歳~19歳

1. しつけ・育て方

(第1子)

- ・もうすぐ20歳になる子であるが障害があるので、将来の不安と就労に結びつかない現実と年頃であるので反抗期もありうまくいかない。

2. 子どもの将来

(第1子)

- ・お金のために大学へ行かないこと。
- ・仕事も少なくなってるので就職できるかどうか。
- ・美容師だが安定した職業ではない(給料も少なく家にお金を入れる余裕もない)
- ・自分(母)が病気のため働けないため。

3. 子どもの進路

(第1子)

- ・高校卒業するから。
- ・進学に伴う学費など。
- ・大学進学のための学費。
- ・現在高3で就職活動中だが、メンタルが弱い。
- ・大学に行きたいと言ってる。
- ・大学進学が無事に終わる事、入学後の子供の金銭的負担等。
- ・希望大学に行けず、就職活動が心配。
- ・大学2年生で就活が不安。

(第2子)

- ・受験生なので。

(第3子)

- ・現在進路を考え中。

4. 勉強・学力

(第2子)

- ・大学の勉強を理解できてるか。

5. 健康・障害

(第1子)

- ・誰も本当には理解してくれない。

(第2子)

- ・病院へ行かない、行きたがらず暴言をはく。

12. 教育費

(第1子)

- ・高校の授業料と受験、進学のための入学金、学費が一度にかかりかなりの負担となっている為。
- ・大学受験のため。
- ・大学進学への費用の工面
- ・大学生ですが、経済的に負担が大きくて生活が大変です。
- ・遠方大学のため、仕送りが必要(教育費の他に)。

(第2子)

- ・お金がかかる。
- ・進学のための費用。
- ・次の4月から大学生の予定のため。
- ・私立大(理数系)の学費が高い。養育費の滞納。

(第3子)

- ・大学入学したが、次の進路に進むにも奨学金がとれない。

20歳～

2. 子どもの将来

(第1子)

- ・まだ仕事を始めたばかりだから
- ・就職先が決まり自立できるかどうか。
- ・独立できずPCばかりに熱中。
- ・自立できない。
- ・母子家庭で手をかけて育ててあげられずにきたので、今色々な影響が出ている。

(第2子)

- ・得意分野があるのに、専門学校や大学に通わせられない。

3. 子どもの進路

(第1子)

- ・あと一年、下の二人とともに学生生活があるため。
- ・家賃と学費があるためお金を借りても返す力が年齢とともに負担になるため。
- ・在学中で父親が障害があることで精神的負担はある。
- ・大学卒業後の就職先が決まってない。
- ・資格受験と就職。
- ・就活中だから。
- ・就職してからの自立。
- ・安定した企業に長く勤めてほしい。
- ・発達障害の疑いボーダーラインの子で心配事が多い、自立が厳しい。
- ・本人の望んでいる職業につけるか心配。
- ・ふたりとも発達障害を持っているため、社会にできるまでに適応させられる人間に育てていけるか？という不安は常にある。
- ・働く気がないのか？働けない何かがあるのか？
- ・現在アルバイトで就職してないため。
- ・就職先の間人間関係。

(第2子)

- ・学費・バイト・現在の大学卒業後、改めて進学
- ・来年就職のため。

4. 勉強・学力

(第1子)

- ・大学浪人中。

5. 健康・障害

(第1子)

- ・精神障害の症状が現れてないか心配。
- ・障害がある。

12. 教育費

(第1子)

- ・教育にかけられる資金が不足。
- ・大学生のため、お金がかかります。

(第2子)

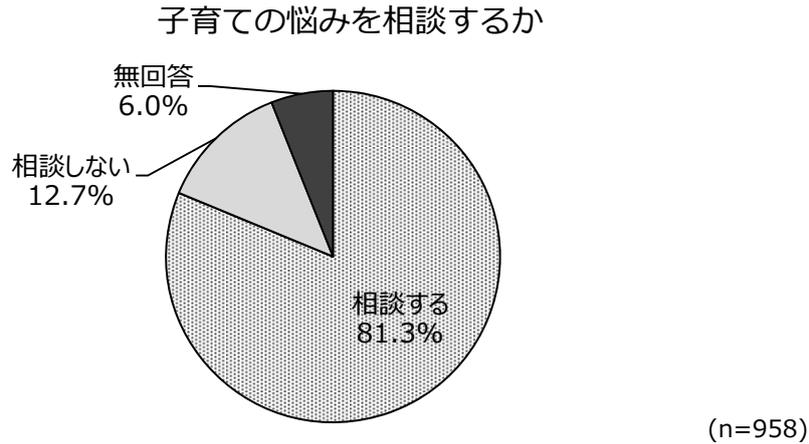
- ・大学の学費負担。
- ・学費

14. 特になし

(第1子)

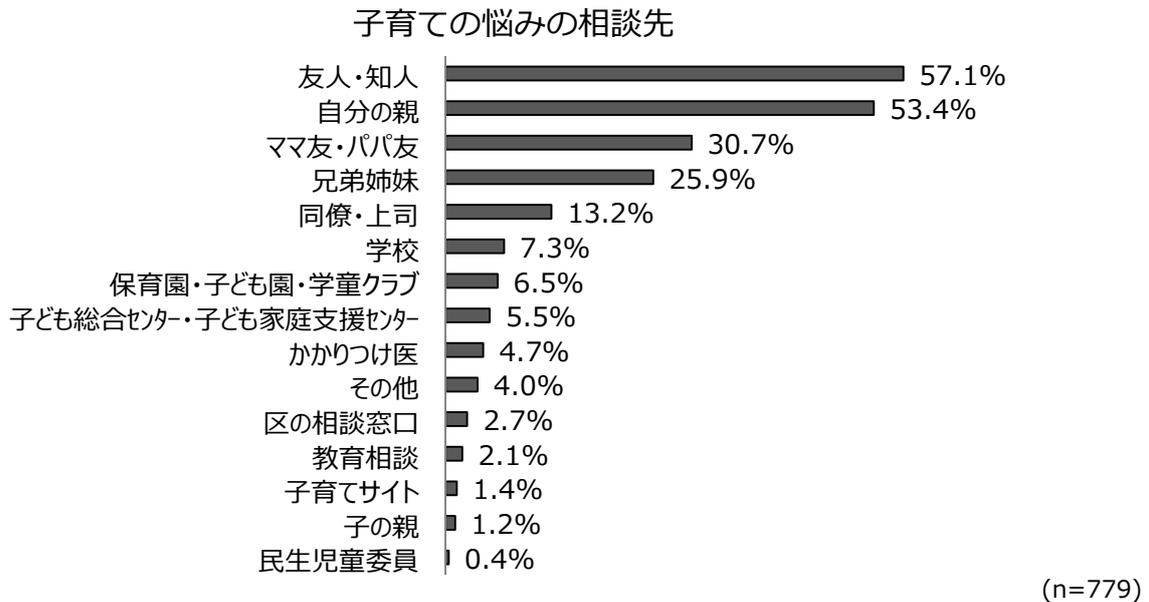
- ・自立している。
- ・社会では税金や物価の値上げを行ってるが、賃金の値上げは難しい事が現実。職に就けるように頑張ってもらいたいし大学まで行かせてあげたい。一人で強く生きる事を教える事が難しい。

問 16 子育てで悩みがあるときに、誰かに（どこかに）相談をしますか？（〇は1つ）



「相談する」と答えた方 → 誰に（どこに）相談をしますか？（あてはまるもの上位3つに〇）

子育てに関する悩みごとを「相談する」と回答した人のうち、「自分の友人・知人」に相談する人が57.1%と最も高く、次いで「自分の親」が53.4%、「ママ友・パパ友」が30.7%となっている。一方で「区役所の相談窓口」については2.7%であった。



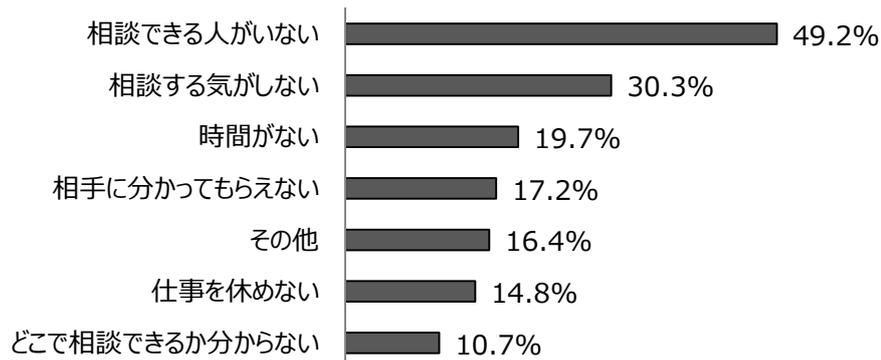
* その他回答

- ・病院の相談員
- ・カウンセラー
- ・母子生活支援施設
- ・療育先
- ・本
- ・ファミリー・サポートの方
- ・教会
- ・ヘルパー、ベビーシッター
- ・専門職

「相談しない」と答えた方 → 理由は何ですか？（あてはまるもの上位3つに○）

子育てに関する悩みごとを「相談しない」と回答した人のうち、相談しない理由は「相談できる人がいない」が49.2%と最も高く、次いで「相談する気がしない」30.3%であった。また「時間がない」との回答が19.7%、「仕事を休めない」が14.8%となっており、時間等の都合により相談できない人が3割を超えている。「相談先が分からない」については10.7%であった。

子育ての悩みを相談しない理由



(n=122)

*その他回答

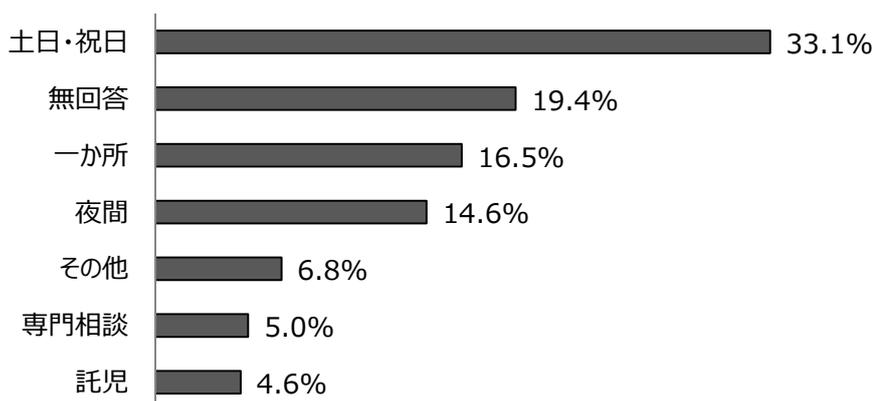
- ・相談しても仕方がない。
- ・自分で解決する。
- ・相談してもありきたりの返事しかない。
- ・役所の人を信用できないから、絶対相談したくない。
- ・恥ずかしい

問17 どうしたら、区の相談窓口が相談しやすくなると思いますか？（〇は1つ）

どうしたら区の相談窓口が相談しやすくなると思うかについて、33.1%が「土日・祝日に相談できる」と回答している。「一か所でいろいろな相談ができる」と回答した人は16.5%、「夜間に相談できる」と回答した人は14.6%であった。

「その他」の内容として、プライバシーの守られた相談スペースの設置や、窓口以外（インターネット・メール・訪問）での相談、相談員の資質等が挙げられた。

相談窓口を利用しやすくするには



(n=958)

* 具体的な専門分野の回答

- ・死別から立ち直るための相談できるところ。
- ・大学受験
- ・行政 + 弁護士など。
- ・精神科の専門相談
- ・発達障害
- ・ビザの申請
- ・障害児の相談
- ・子どもの心理
- ・カウンセリング
- ・ひとり親経験者
- ・不登校
- ・就学前の文字学習

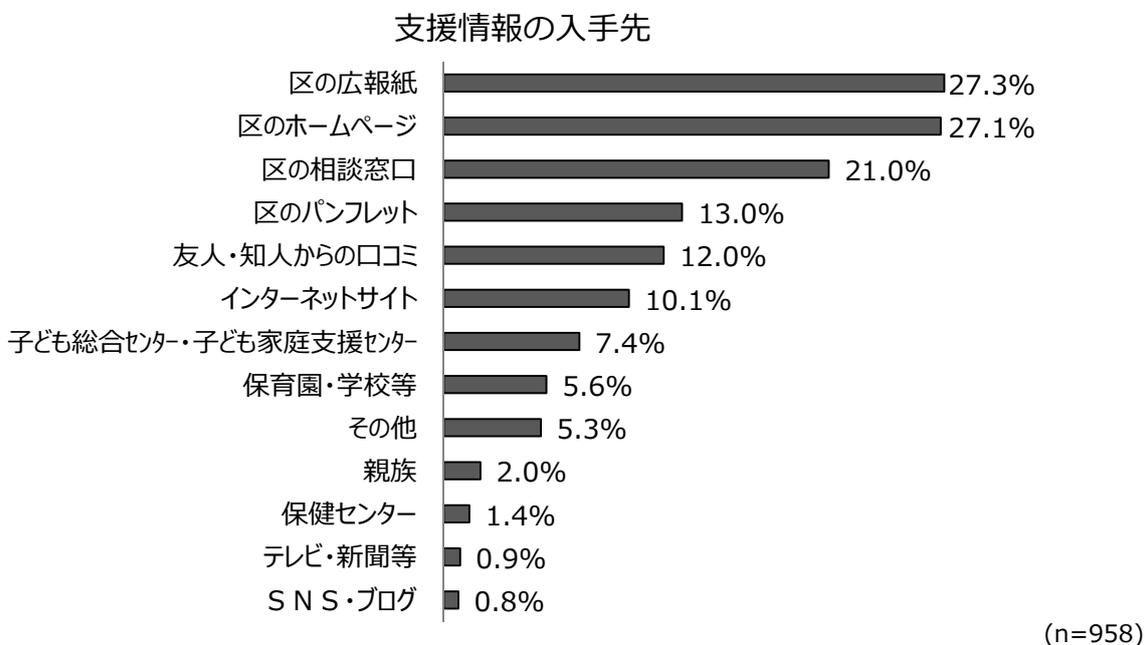
* その他回答

- ・相談をしても保育園に入れなかった。
- ・窓口以外の相談方法があるとよい。（インターネットでの相談・電話相談・メール相談・訪問相談）
- ・匿名相談
- ・出張所で相談できるとよい。
- ・電話をしても、たらい回し。
- ・相談窓口があることを知らない。
- ・お金を借りられるようにしてほしい。
- ・子育ての悩みを行政に相談すれば、子育てができていないと判断され、児童相談所に連絡されるのではと不安。横のつながりへの安心感や信頼性を改善してほしい。
- ・なんでも虐待に持っていくので、話す気にならない。時間の無駄。

- ・公的な人の対応は、親身になってくれない。
- ・相談員が、いかに口が固いか、自分のことのようにしっかり考えてアドバイスするかだと思う。
- ・プライバシーが守られたところで相談できるようにしてほしい。
- ・隣と簡単なパーテーションがあると相談しやすい。
- ・事務的な感じがするので、相談にくい。
- ・全くの他人に相談することは難しいため、特に解決策とないと思う。
- ・同じ立場（母子家庭、父子家庭）の人があまりいないから、気持ちがわからないと思う。
- ・気心が知れてない。
- ・相談する方の顔が見えない。
- ・「専門」が怪しい。資格にかかわらず、人間的に情のある人が親身になって相談してくれたら、相談しやすくなる。
- ・個人を知らず相対的な話をしてくる相談員が多いので無理だと思う
- ・勉強より経験、年齢は高めで話し方により信頼を取れると思います。育児に正解はない。
- ・人が信用できるまで時間がかかるのでよくわかりません。
- ・愚痴を聞いただけなら今のままでよい。
- ・児童扶養手当申請の際に、制度の利用の仕方がよくわからないので、簡単な紹介やニーズの確認があるとよい。

問18 あなたは、ひとり親家庭への支援情報をどこから入手していますか？（あてはまるものすべてに○）

ひとり親家庭の支援情報の入手先は、「区の広報紙」が27.3%と最も高く、次いで、「区のホームページ」27.1%、「区の相談窓口」21.0%となっており、多数のひとり親が区から情報を入手していると回答している。



* その他回答

- ・入手していない
- ・離婚後、転居届を提出したときに区役所で案内された。
- ・役所からの手紙
- ・どうやって新しい情報を調べていいかわからない。
- ・支援情報を探す時間がない。
- ・母子生活支援施設の職員
- ・社会福祉協議会

問19 あなたが、問18で入手している情報は、どんな情報ですか？

入手している情報は、「手当、助成金、貸付等の経済的支援」に関するものが最も多く、128件あった。「休養ホーム」などのレクリエーションに関する情報が78件、「子育て支援・ひとり親支援」などの情報が75件と続いている。

手当・助成金・貸付等の経済的支援	128件
<ul style="list-style-type: none"> ・経済的支援 ・助成金 ・金銭的な援助 ・生活費 ・お金に関するもの ・補助金等 ・就職手当 ・特別な手当の情報 ・受けられる手当 ・手当額 ・公的手当 ・医療費助成 ・手当の種類、額、方法 ・児童扶養手当等のひとり親手当 ・就学援助 ・給食費 ・幼稚園の学費減額 ・学童クラブ利用料免除 ・就学支援金 ・学費の支援 ・教育資金の援助 ・社会福祉協議会のチャレンジ支援 ・塾代の貸付 	
休養ホームなど	78件
<ul style="list-style-type: none"> ・使い方等 ・利用施設について ・ひとり親レクリエーション ・保養所のようなもの情報 ・日帰り施設 ・銭湯のチケット ・割引になる場所など金額的なもの ・宿泊施設利用 ・テーマパークへの割引 ・東京ドームの得10チケット ・ディズニーランドチケット割引 	
子育て支援・ひとり親支援情報	75件
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援 ・ひとり親支援 ・各種支援制度 ・自分は何れにあてはまり、どうすればよいのか ・どのようなサービスがあるか ・活用できるものがあるか ・どのような制度があるか ・援助に関すること 	
教育関係	28件
<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の選び方 ・中学の私学助成 ・教育相談 ・就学相談 ・進学面 ・子の就学支援 ・子どもの教育に関すること ・教育支援関係 ・高校の授業料関係 ・学習支援 ・習い事 ・教育資金の援助やどのような支援があるか ・学費の支援 ・奨学金のこと 	
一般的な情報	26件
<ul style="list-style-type: none"> ・利用できるサービス等 ・区民として何が受けられるかなど ・新宿区全体の情報 ・生活情報 ・一般の情報 ・どんな支援があつてどうやって利用するか等 ・新しく追加されたもの、変更などはないか ・トピックス 	
住宅	21件
<ul style="list-style-type: none"> ・都営住宅 ・区営住宅・住宅（家賃補助等）関連 ・住宅支援情報 	
就労・自立支援	21件
<ul style="list-style-type: none"> ・就職情報 ・仕事のこと ・就労支援制度 ・ひとり親家庭就労相談 ・パソコン講座 ・介護福祉士の受験費用の助成 ・自立支援教育訓練給付 	
児童扶養手当受給者に対するサービス	19件
<ul style="list-style-type: none"> ・都営交通無料パス ・JR 定期割引 ・水道代減額 ・粗大ごみ 	
保育・学童クラブ・子の預け先等	18件
<ul style="list-style-type: none"> ・保育園 ・学童クラブ ・放課後ひろば ・ファミリーサポート ・ベビーシッター ・ショートステイ ・病児保育 ・トワイライト 	

イベント情報等	13 件
<ul style="list-style-type: none"> ・子どものためになるイベント ・「ステップアップ塾」 ・「ジュニアリーダー養成講座」 ・子どもが経験できるイベント ・無料（または少額の）体験学習的なイベント ・お祭りやフェア ・情報教育的や生活に役立つイベント、音楽会、講演・センターまつり 	
相談	13 件
<ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口や相談可能な内容等 ・相談できる機関や制度の情報 ・電話相談窓口等 ・相談会等 ・教育相談 	
手続き	11 件
<ul style="list-style-type: none"> ・手続きの仕方 ・要提出書類の告知他 ・届出などの支援情報 ・補助などの申請の仕方 ・手続きに関すること 	
その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・障害児の生活や習い事、一人でどうそだてるか ・学習障害児のための情報 ・発達支援 ・ほかの人の悩み相談の実例、回答を参考にする ・現状の子育ての問題 ・学校事情 ・勉強面 ・いじめ ・行政の支援内容は理解しづらい。 	

Ⅲ 自由意見

(問 20 その他、悩みや不安、必要と感じる支援等ありましたら、ご自由にお書きください。)

自由意見欄は、明らかな誤字・意味がくみ取れないものを除き、ほぼ原文のまま掲載しました。

【経済的不安・悩み・要望等】

☆教育費

- 進学時の費用（中学・高校時入学が一緒のため）
- 高校進学で都立に入学できなかった場合、私立高校の学費を負担できるかどうかという不安がある。大学も同様。
- これから子供が大学に進みたいと言ってるがたくさんお金が必要になり、高校入学してからは都立だが中学の時よりお金がかかり生活も大変。これからのことが不安で、怒りっぽくなり嫌になる。
- 進学について支援があるととても助かる。最低限の学力ではなく貧しさから抜け出せるレベルの就学支援があるとよいと思う。
- 子供が（成人するまで）学生の身分のうち公的補助がないとつらいので将来の不安と無料の学習支援（高校生）を探している。
- 一番の悩みは子供の教育を受けさせたいための費用です。学びたい子供たちが経済的理由で不可能にはさせたくないです。
- 今時、大学は贅沢ではなく義務教育にすべき一般的なので、受験料授業料もっと安くかたぐに。いい教育→いい会社、職につけ高収入＝税金払うことになる。未来のため子供、教育にお金かけるべき
- 教育費の借入等知りたいと思う。以前は住宅に困っていました。母子家庭（父子も）優先の公営住宅必要です。
- 長女は現在私立高校。都立に落ちたため。十分に学力はあったものの当日のテストで失敗。ぜひ第2志望までの受験ができるようにしてほしい。一発勝負ではひとり親家庭はチャレンジできない。
- 高校生になり、遠い学校に通っているので電車代他部活にかかるお金の負担が多いことです。
- 子供3人が十分に教育を受けられる経済力がほしい。
- 進学の時のお金のこと、今の生活で大学へ行かせられるか不安（奨学金を借りても返済が大変）。親自身が学歴がないとひとり親はまともな仕事がなく、大変なので助けてほしい（区の仕事等）。
- 子供の向上心が高く、中学受験をしたいと頑張ってるが、もし合格したらどうしようと悩んでる。塾代で貯金がなくなりそう。
- 子供の教育費と自分の将来設計
- 2年後に次男が進学または就職を決める時期がきたとき、どこへ相談するのがベストか悩む。
- 中学の制服支給(現状制服のない公立中学は近くにないので)、高校の学費援助。
- 中学生になると塾に行かせるタイミングを考える。そういう支援もしてほしいです。
- 学習支援を行ってほしい。少しお金を支払ってもいいから大手塾よりは格安で勉強を教えてもらいたい。
- 中学、高校へと進学する際の教育費が払えるか不安です。
- 民間（NPO）の無料学習指導を利用し、助かっている。区でもそのような支援があると助かる。

☆住宅

- 収入が増えず家賃の支払いが苦しい（都営は8年間当選なし）、働いてもお金が足りません。
- 家賃の負担が大きい。都営、区営、区の家賃補助などハズレ続け貯金もなくなり、このままだと生活できない（来年から上の子の養育費もなくなるので）住宅についての支援はないのか？
- 子供が社会人になるまで住まいについて安くなるシステムがあったらと感じた。都営も裏から入った人ばかりで真面目に申請しても当たらない。子供が小さい時だけでも住めれば良かった。
- 子供が大きくなり1Kの住居ではとても狭いです。都営住宅に何度応募しても落選でこの先とても不安です。
- 都営住宅に何度も応募しても当たらない。母子家庭をもう少し優先してほしい。実家に住んでいるものの、とても狭くストレスがすごい。
- 都営住宅の申し込みがいつもバタバタしていて、知らずに過ぎてしまうので、そのお知らせを郵送してほしい。
- 都営が当たらず年頃の子供と同じ部屋で寝る。着替えもトイレでする。一人暮らしの人が広い都営に住み、子育てで大変なのに都営に当たらない。子育てのしやすい社会にし、見直ししてほしい。
- 現在の住まい家賃が高いし、狭いし…。引っ越したいけど費用等がかかる。都営住宅、区営住宅の募集をいっぱいしたが当たらない。これを考えると夜も眠れません。
- 両親も他界し、賃貸だが都営も落ち住み慣れた場所から変わりにたくない場合、賃貸料が重い。中高生は進学を考えると地域の方の見守りは大きく、民間の賃料助成があれば助かります。
- 住宅（都営・区営9に入りたいが書類に種類が多くて応募できない。現在都営に間借りしているが、両親が亡くなった場合退去しなくてはならないと思うとかなり不安。
- 業務の性格上、徹夜も多いため職住近接を続けてきたが、新宿区内は家賃が高く困ってます。私くらいの収入でも都営住宅レベルの公的住宅に入居できるようにしてほしい。
- 区営住宅を増やしてほしい。子の環境を変えたくないのでも、新宿区に住み続けたが家賃が高い。
- 区営住宅を増やしてほしい。地元割の戸山ハイツを増やしてほしい。
- 区営住宅に何度も応募してますが当たりません。
- 住宅などの不安があり、それについて相談できたらいい。
- 住宅の悩みを抱えています。働いた給料の大部分が家賃や生活費で消えていく。もっとひとり親の住宅を募集してほしい。
- もう少し区営住宅が増えてくれればと思います。新宿に両親がいるので、車の無い自分は親に何かあったら困るので近くに住むようにしていますがワンルームで82,000円でも苦しいのは変わりません。
- ひとり親で自営業で外国人だからか、子供が生まれてからなかなか住む家が見つからず（貸してくれない）やむを得ず高めのUR団地に住んでいるが家賃の助成があるとありがたい。
- 毎月子供3人いて部屋が狭くなり大きい部屋を借りることでなくて、本当に家賃も高く生活が苦しくカードローンを利用せざる得ない生活が毎日苦しいです。
- 住宅費の支援があると心強い。民間（NPO）の無料学習指導を利用し、助かっている。区でもそのような支援があると助かる。私の親が理解がなく人間関係が難しい。暴言を吐かれストレスを感じる。
- 生活費のほとんどが家賃で消えるため、今の悩みは住まい。今の生活が続いたら自立できない子供の将来も不安。ひとり親の住まい問題を本気で考えてほしい。
- なかなか正社員で十分な収入を得ることが難しい。持家もしくは家賃が安い団地に住めたら、生活していけると思う。なかなか公団もあたらないのでひとり親への住宅の支援をぜひ検討希望。
- 母子、父子家庭が多く住めるマンション、アパート。家賃の補助（都営に住めないから）
- 以前、部屋を探そうとしていたとき「母子だと・・・」とか、「子供が一人二人ならともかく三人だと・・・」とひとり親に対して厳しすぎる。子供を連れて部屋をお探すのも借りるのも難しいのは差別。くやしい。

☆ひとり親手当等

- 年収が少しオーバーするため児童扶養手当がもらえていない。決して余裕があるわけでないため、上限額の見直しをお願いしたいです。
- ひとり親の支援が受けられないものがある。同居している人の年収は別だということをわかってくれない。そのために支給停止になるのはおかしい。
- ここに記載するのが適当か不明だが、全くサポートを受けてない。持病持つ母と同居を始めただけで手当を停止された。むしろ負担増なのに納得いかない。制度の改善を求める。
- 友人のシングルマザーが児童扶養手当を受けられない収入でそのため水道代や都営交通、医療費、ひとり親休養ホーム等の制度が受けられない。高所得者でない限り受けられるようにすべき。
- もっと多くの手当（お金）がないと生活できない。
- 同じひとり親家庭なのに正社員で働いていて他の人より収入があるから、児童扶養手当を受給停止にされてしまった。手取り18万程なので、実際ギリギリです。不公平だと思います。
- パートで勤務時間など多くなり、収入が少し増えると支給額がカットされて本当に苦しい生活。
- 両親姉と世帯別で住まいは同じ。私の経済的理由身体的理由（病弱）のためやむを得ず同居。両親ともに経済的余裕なく預金崩しての生活。児童扶養手当の受給資格が少しでも緩和すると和らぐ
- 児童扶養手当の支給が190万以下のため水準が低すぎる。子供の貧困格差が広がるだけです。働いて子育てするのに、年収190万では生きていけません。せめて240万（月20万）に希望。
- 収入があがり養育費が減りました。トータル額で児童扶養手当がいただけなくなり、それに伴い都営無料券ももらえなくなり、教育費はこれからかかるし、老後の事考えると不安です。
- 現在、父母と同居して父の収入が少し上限を超えるため今後もらえなくなることで（今は範囲内でもらえます）本当に生活苦しく、同居人と私は生費は別。同居人の収入をカウントしないでほしい。
- 手当は18歳で打ち切られるが、その後進学で一層莫大に費用がかかるので、もっと援助してほしい。
- 児童手当や扶養手当が20歳まで払われると良いと思う。一番お金がかかる時に打ち切られるのはとても不安で、大学の進学等もあきらめざるを得ない。
- 高校生になってから支援無いので心配
- 手当が18歳までしかもらえないのでその先の生活が不安。20歳までもらえるようになると少しは楽になるのですが。
- 高校から大学生（20歳）まではひとり親手当が出たらすぐ育てやすい。悩んでいる。
- 義務教育終了後からのほうが、様々な形で教育費がかかります。児童扶養手当の増額、子の医療証の延長等もう少し支援制度の見直しを願いたい。
- 一番出費がある高校生以上の時期に支援が少なくなるのはつらいと思います。
- 母子手当がもうすぐ終わるのでもう少し収入を増やさなくてはと思う。
- 中学生の子供がおり、仕事と児童手当で両親の元で生活していますが、子供の成長を考えると、家を出て親子で生活したい。それには中3で終了してしまう手当もあるので、生活費のことを考えると不安。
- 現況届の封筒が少し小さい。今年はアンケートもあるのでパンパンです。

☆寡婦控除

- 未婚（事実婚解消）だと、寡婦の制度が使えないので、区内で適用できるといいと思います。
- ひとり親の理由が未婚の場合、所得税・住民税の負担が死別、離婚と比べて高い。新宿区は学童クラブの利用料の軽減等一部対応してくれるが、他は差別される。国で対応できないなら都、区で差別を少なくして。
- 未婚で子育てしてる家族には寡婦控除が適用されないため、離婚、死別との差がある。未婚も同様に控除されること願います。養育費も離婚の親より出ないことが多い。年末調整の時つらい。

☆税金・社会保険料等

- 都民税、市民税など高すぎ。
- ひとり親家庭の住民税を軽減してほしい。
- 新宿区は手当や支援が厚く積極的に相談に乗って下さるので助かります。現在准看護師なので来年から学校に2年通って正看護師の資格取ります。税の免除（減免等）があれば助かります。
- 未婚のひとり親も税金を軽くしてほしい。
- ひとり親の家族に対して税金免除できたらいいと思う。
- 国民健康保険料が高すぎて負担できない。将来国民年金を受け取る予定ですが、満額受け取っても生存できない。何のために支払ってきたのか何のための年金なのかと思ってる。

☆生活費全般

- 漠然と子供たちの将来の支えが続くか不安（自立するまで経済的に）。発達特性の強い子がいて公的支援でどうにかならず地域や学校など人的支援に助けられているが地域貢献する余裕がない
- 収入があるからと言って色々な制限を受ける。都営にも入れない。すぐ収入があれば別だが、手当もらえず家賃も他の人と同じ、税金も払って収入では貯金できない。働くほど時間もお金もない。
- 金銭的な事が一番多い。
- 子どもが高校を卒業してから手当が無くなるので医療費等の負担など経済面で不安がる。食物アレルギー、アトピー性皮膚炎があるので、エピペン等の医療費が軽減されるとよい。
- 家賃と高校の学費を支払ってるので生活が苦しい。早く区営、都営、家賃の助成を受けたい。健康面でも夜遅く朝早く、弁当作り日中は週5で仕事でへとへと。病気になるか心配、かかるお金なし。
- 金銭的に余裕がなく非常につらい。発達障害児の子育ては負担が大きく仕事との両立が厳しい。
- 生活のこと、自分の病気なので定期的に働けない。家賃の負担が大きい。
- 一時的な生活費の支援
- 家賃ワンルーム9万5千円を払いながら、預金はできないいつまでもワンルームでの生活は子供の成長とともにむりになり、母子世帯の人がどうやって生活してるのか知りたい。
- 保育園や小さな子供の保育にもさまざまに問題があるかも知れないが、子供が大きくなる中学高校の方が大きなお金がかかります。食費や勉強等かなり負担です。
- 離婚時に親元に戻ったが子供と二人で暮らしたいと思っても、現状世帯での収入で様々な手当の額が変わり自立して暮らせるまでのお金が貯められない。少ない貯金で新生活を始めるのは怖い。

【相談】

- 子育ての悩み、生活費などの経済の悩み、自身の親との確執の悩み、老後の不安等抱えることはたくさんです。親身な相談相手がいません。
- 区役所に来たくても仕事をしているためなかなか来れず手続き等遅れることもあるので、足立区は毎日20:00まで窓口業務をやっている。働くママにとっては夜間窓口は助かる。ぜひ検討ください。
- 助けてほしいと思っても力が出なくて、外部に頼る気がない。
- 現在は小学生になり何かの時は学校等に問い合わせしてるが、乳幼児の時は誰にも相談できず区の家庭課の方にお世話になった。自分が出産で内科の病気になり絶望したが親身に助けられた。
- 自分の体験談だが、働いていて（預けて）区に相談に行くのは難しい。休みも他の方より多い（日・祝）のでイレギュラーにお願いしないと行けない。月に1・2回でも日祝空いていればありがたい。
- 9:00～17:00で働いてるため、区役所に来る時は仕事を休む等を行わないと相談できない。

- 仕事をしているとお休みが取れない。土日祝や夜間託児があれば相談しやすいです。それがダメなら仕事場近くまで来ていただければ、昼休み等利用して相談できるかも。メールやLineも希望。
- 長男が高校2年の時に不登校になりその後2年間在宅後にチャレンジ校に行き大学にも行けるようになったが、その間に学校以外での相談機関が見つけれずとても苦しい思いをした。
- 1 相談機関は増えているようだが、平日しか行っていなくて17時くらいまでとか、対応日が月2回指定日など相談者側の都合を全く考えていない。本当にサービスするなら民間のように夜間、土、日対応すべき。
2 障害を持っている子は一生対応が必要なのに20歳を境に援助を切るのはいかがなものか。
- 子育てや経済的悩みを相談したり支援できる所があれば助かります。
- もっと幅広く気軽に相談できる場所を設けてほしいと思います。
- できればどこでだれと相談できるか具体的な情報を知りたいです。
- 何でも話せる場があると思う。相談員の人はちゃんと話を聞いてくれる人にしてほしい。
- 電話相談ができるの良い（話す事で考えがまとまる、すっきりするため）講座だと日時が合わない事もある。
- ひとり親の相談相手はひとり親の経験者が良いと思います。悩みや不安はたいてい話を聞いてもらえば済むケースが多いと思うので、配置はまず適任者の条件を変更すれば相談に来る人も変わると思う。
- やはり相談しやすさのアピールじゃないですか？友人、知人、ママ友がいない人も多いので。役所にはなおさら相談に行く気も起きない。もっとパンフを配布するとか。
- 矛盾してるかも知れないが、今は聞いてもらいたくても誰に話していいのかわからないから、悩みや不安がたまっている。
- ひとり親でかつ子供に障害があり、かつギリギリ手帳取得ならないような子抱えてる場合八方塞。何をしても土日しかなくとても苦しいが区役所に相談しても何も解決しない。

【就労・資格取得等】

- 進学の時のお金のこと、今の生活で大学へ行かせられるか不安（奨学金を借りても返済が大変）。自身が学歴がないとひとり親はまともな仕事がなく、大変なので助けてほしい（区の仕事等）。
- 会社がなくなった時の不安がある。次の働き場所を探すために準備する資格取るなど支援がほしい。
- 非正規雇用ではなく正規でも子供の進学（大学）につながるような収入の仕事の紹介を今後ひとり親の方に提供できる制度を新宿区で作ってもらいたい。公的機関と企業の雇止めを改善してほしい。
- 正社員を目指し就職活動をしたいが、仕事終わりに預かってもらえる人もいないから面接行けない、辞めてから探す必要がある状況。保育園を出て行けないうの可能性があるし、怖くて転職できず。
- ひとり親家庭の大変さを会社等は理解してないため、融通の効いたシフトや待遇が受けられない。またそういうシステムがない。
- 転職したくとも次の就職が見つかるまで収入がないのは困る。年齢もあり早く転職したいが現在の仕事内容を考えると離職まで二か月は要。

【支援制度等】

- みんな塾に通い、学校では不十分。習い事などの手当があると良い。本も新刊や図書館にない本を読みたがるので本を買う補助があると良い。PC購入の補助、銭湯の回数券がほしい。
- 子供の学習特に長期休暇中の親就労時の学習補助支援、子供の長期休暇中の昼食補助支援、（低額で同じ環境にある子供たちが一緒に（一人ではなく）昼食を取れる場所）
- ひとり親の受けられるサービスなど定期的なお知らせがあるとうれしい。家事代行等あれば紹介してほしい。

- 子供食堂など区も後援して充実するといい。
- 自分が一日一人でいられるような支援、月1くらいにほしい。
- 今の悩みはお金（生活など）、子供のこれから…。必要と感じる…浴槽が浅いため浸かれないのでお風呂券があるといいです。
- 支援を受けたくても年収のせいで受けられない。また区のサポートは平日のみで使用できない。
- 窓口で利用できる（可能な）制度を教えてもらえるとすごく助かります。自分ですべてを調べてから申し込むのはとても難しいと思います。
- 子供と出かける金銭的余裕がないのでもっと増やしてほしい。

【子の保育】

☆ 保育園

- 病後児保育の施設を作してほしい。区で紹介してもらえるのは日中しかないので意味がないし、病気は突然くるので対処に時間がかからない方法で考えてほしい。困っています。
- 正社員で働いている。時間のゆとりない。長く預かってもらえたり、臨時（急でなくても）預かってもらったりといった、私自身のための時間もほしい。（美容院や病院行くのも相当頑張らないとできない）
- 保育園では事足りず現在会社の近くの私立幼稚園に通っているが、幼稚園に通っていると保育園の一時保育に預けられない。朝夕の送迎と幼稚園がお休みの日だけ対応してもらいたい。
- 子どもが37.6度以上では園は預かってくれない。病児保育も38度以上ではダメなため自分で見るしかない。この状態だと就職しても「やる気あるの？」と言われそう。病児でも保育所（負担0～3千円/一日）くらいならいいなあ。
- 保育園問題。働かないとはいれないのがおかしい。親兄弟のいない所での子育ては大変。夜働くと、大きくなった子に小さい子を見てもらいながら、家庭内は荒れました。
- 保育園・学校などがもっとひとり親家庭に配慮してほしい（父親のみ参加OKな保育体験、運動会で力が無くてはできない親子競技をするなど。子どもが差別されてかわいそう。いろいろな家庭がありひとり親が悪いという事を他の子どもや親に知らせてほしい。
- ひとり親に対する社会や地域の偏見社会の狭さ。保育園のひとり親に対する配慮のなさは不安。認証保育園のため園長は気をつけてくれるが、会社本部の遠慮のなさは目に余り、不愉快に感じる。
- 保育園を増やすか、点数のひとり親加算を増やしてください。出産のため退職すると点数が減ることを知らなかった。知っていれば仕事辞めなかった。
- 子供を保育園に行かせたかったが申請してもダメだった。昔のように保育園の受け入れる保育園を増やしてほしい。
- 保育園を探すのにまず見学からとなると何をみて聞けばいいのか悩む事があるので、勉強会のようなものがあるといいなと思います。
- ひとり親ですから、お子さんがなかなか保育園に入れないです。今の仕事の時間だと保育園のお預かり時間が合わないです。
- 保育園に入れない。働けない。

☆ 子の放課後の居場所・学童クラブ

- あまりにも学童利用の費用が高い（場所、スペースも狭い）学童の融通の効かなさ。ひろばは無料、ひろば利用の子供に追いやられてる。
- 学童の預かり時間を保育園同様に19:30もしくは20:00にしてください。フルタイムで働けません。
- 特にありませんが、仕事をしているので学童の終業時間が19:00から20:00頃まで延長してもらおうと助かります。

☆その他

- 子供の預け先がどこにも親族内でないため、母（私）一人で苦戦し疲れ切ってしまう。
- 小学生以上の子供の預け先が少ないです。ショートステイより利用しやすい小学生以上の子供預け先があれば助かります。
- 小学生のころ、仕事で不在の際（残業、宿泊する出張）子供の預け先にとっても困りました。一泊でも費用がかかっても子供を預かってくれる所があればと思いました。
- 私は東京に頼れる身内がないので何かと大変なことが多いが、ファミリーサポートなど高額でなかなか使えない。その部分の免除があると非常に助かる。
- シッターや家事支援、母親一人では限度がある。本当に誰の何の支援もないシングル親もいます。親の孤立＝子の孤立です。
- 子供を急に預ける場合ベビーシッターさんに預ける金額と働いた金額があまり変わらないので、預ける＝タダ働きになるのももう少し費用を安くしてもらえると助かる。
- 働くシングルマザーたちの仕事と育児が両立できる環境を徹底的に整備してほしい。

【子育ての悩み】

- 子供に生きていくうえで必要なことを教えると暴言で返され、自分の仕事のやる気がなくなるので思うように言えない。一緒にいると負担がかかりづらい。
- 子どもの反抗期の精神的負担
- ひとり親だときちんとした子に育てられるか不安がある。できれば他の子と同じように育ててほしいけど難しいのかと思う。
- 小学生になって子供の精神的な安らぎとなるためにどうしたらよいのかと。自宅、学校で行き詰った時（怒られた場合）落ち着いて話を聞いてもらえる場所（人）や逃げ場がないので子供がづらいかも？
- 姉妹けんかの仲裁に入ってほしい。コーチングや心理学を積極的に学べ虐待にならない支援。4年生以上を預け親同士がリフレッシュできる支援。中3卒～医療費が3割負担を1割に軽減希望。
- 小学校に上がったからの夏休みが心配。習い事などをさせてやれず心配。

【子の健康・障害】

- 16歳の娘と二人暮らしです。娘は先天性心臓疾患で秋（10月）グレーン手術、来年フォンタン手術の予定です。
- ひとり親で障害のある子供の支援があると助かる。
- こちらの課には関係ないかもしれませんがもしかしたら子供が（自分も）軽度の発達障害なのではないかと一人で本を読みながら克服しようとしています。

【親自身の健康・障害】

- 今自分が病気になり、働かなくてはいけないのに思うように働けない。
- 体調が不安定で職につけない
- 自身重病（うつ病）でいつか死ぬ、娘はかわいそう。
- 私自身の身体的、精神的な病気のために子供に負担をかけている。そのため金銭的な問題が大きい。
- 働きたい気持ちはあるが病気でなかなか自身が持てない。

【現在・将来の不安】

- 自分の体調が悪い時に今後の子供の将来に不安を感じる。
- 将来の生活
- ひとり親で私が倒れた時どうやって生計をたてていくかかなり不安。
- 今現在は何とか生活できてるが、高校進学、大学等進学、自分の老後など節目でのお金に対して不安を感じています。
- 大変な時期はずいぶん乗り切ったと感じてるが、自身が50歳をすぎ暮らし向きが心配になってきている。賃貸マンションが10万を超える。4人で40㎡と狭い。これ以上の負担は無理。心細い。
- 老後が心配です。
- 不安で仕方ありません。子供との生活は幸せを感じてますが、生活できるのか毎日不安です。
- お陰様で母一人子一人でやってきたが、自立するには心細い。自分が死んだり入院の時は17歳の息子が気がかり。施設では義務教育が終わると出されるので心配です。身内はいません。
- 親の健康、介護等と子育て、仕事の両立について不安。
- 今は健康だから良いが、事故や災害で急に親が亡くなるようなことがあった時に子供の力では何がどこまでできるか不安。その時は都、区の支援制度があるか説明やサポートを希望。
- 自分が突然病気になった時の子供のこと。毎日誰かと連絡を取るわけではないので何か家であっても子供一人になったら、気づく人はいないこと。
- 子供の将来が不安。できる限り面倒見るつもりでいます。
- 子供の将来についてが一番心配です。進学、いじめ、本人の希望に沿った進学をさせるための学費を用意できるか？子供の精神面が一番心配です。
- ひとり親であること、子供が将来いじめられたりしないかという不安。
- 自分の身に何かあった時（病気等）、子どもが生活するための支援
- 子育て、親の介護、自分の老後、不安や心配が山ほど。毎日忙しくストレスがたまり体調も悪い。不安が募る。どんな支援があればいいのかわからない。何もかも捨てて逃げたい。
- 健康状態が悪く給与も低く今後生活していけるか不安。ストレスにより子供との関わりもうまくできない。

【親族の健康・介護】

- 母親の介護・相談しても今以上の介護はない。在宅勤務をしたい。

【離婚・調定・養育費・面会交流等】

- 元夫との間の悩みについて、相談できて法テラスに紹介されて、今支援許可の審査中です。結構大きな一歩を進んだ感じをします。
- 養育費などについて法的強制力がないため、法の改正を願います。

【その他】

- 問15の悩みは「1つ」という意味が分からない。1つであるわけがない。何のための問いですか？
- 現在は「悩みなし」ですが、昔育児休業中には金銭的に切迫し、各種手当には大変助けられました。意義のある支援をなさっていると思います。

- いつも区役所の方、子ども家庭支援センターの方には大変お世話になっている。2～3か月ごとに話をしに行かなくてはと思いつつなかなか実現できない。相談にのって頂き有りがたい。
- ひとり親支援に助けられ頑張れた。これ以上甘えられない。子供が留守番を繰り返し行い、不安と闘いながら今に至る経験を教訓に進みます。今ある支援に感謝の言葉以外ありません。
- 今までたくさんお世話になってます。
- いつも助かってます。ありがとうございます。
- 一生懸命頑張っている親子がもっと心豊かに生きやすい世の中になればいいと思います。
- 日々、不安しかないがどうすることもできない。仕事をしてお金を稼ぐことで精一杯。自分も病気になり、少しでも子供にお金を残してやることしか考えられない。支援に頼ってはいけないと思う。
- 子供のこと、仕事のこと他、親の介護を考えなければならない年代に入ってきて、今の仕事で毎日忙しく、親に何かあっても何もできない。仕事休めば収入減る。子供の学力不足。
- 小学校就学前の健康診断など何でも平日の昼間のみ。女性の社会進出、ひとり親の支援と広告ばかりで実際は仕事休まなければいけないので困る。有休をとりにくい環境が現実。

IV 調査票

平成28年度 新宿区ひとり親家庭等アンケート調査

これまでに皆様からいただいたご意見を参考に、今年度「ひとり親家庭サポートガイド」を作成しました。今回の調査は、皆様の状況やご要望等をより具体的に把握し、ひとり親家庭支援事業をさらに充実する検討に生かすものです。調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますようお願い申し上げます。ご回答いただいた内容は、現況届と別に集計し、個人が特定されることはありません。

平成28年7月29日 新宿区子ども家庭部子ども家庭課 (連絡先：03-5273-4558)

世帯の基本情報に関すること

すべての方にお伺いします。

問1 あなたのことについて教えてください。(該当するものに○)

- (1) 年齢：①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60才以上
 (2) 世帯：①父子世帯 ②母子世帯 ③養育者世帯(子の祖父母等が子を養育) ④配偶者に障害がある世帯
 (3) 同居者：①父 ②母 ③祖父 ④祖母 ⑤兄弟姉妹 ⑥子 ⑦その他()
 (4) ひとり親になった理由：①死別 ②離婚 ③事実婚解消 ④未婚 ⑤その他()

問2 あなたのお子さんについて教えてください。(別居中の方も含め、年齢別の人数を記入してください。)

小学校入学前	小学生	中学生	15~17歳	18~19歳	20歳以上
人	人	人	人	人	人

問3 現在の生計は、何によって維持されていますか？(上位3つに○)

- 1.就労収入 2.養育費 3.児童扶養手当等の公的手当 4.職業訓練促進費等の公的支援
 5.金融機関からの借入れ 6.生命保険 7.年金(遺族年金を含む) 8.生活保護費 9.親族からの支援
 10.友人・知人からの支援 11.貯金 12.その他(具体的に)

問4 昨年(平成27年1月~12月)1年間のあなたの世帯の手取りの総収入(養育費や手当等全ての収入を含みます)は、どのくらいですか？ (○は1つ)

- ① ~50万円未満 ② 50~100万円未満 ③ 100~150万円未満 ④ 150~200万円未満
 ⑤ 200~250万円未満 ⑥ 250~300万円未満 ⑦ 300~350万円未満 ⑧ 350~400万円未満
 ⑨ 400~450万円未満 ⑩ 450~500万円未満 ⑪ 500~550万円未満 ⑫ 550万円以上

就労に関すること

すべての方にお伺いします。

問5 あなたの就労状況について教えてください。(○は1つ)

- ①働いている ②働いていない

理由は何ですか？

- 1.求職活動中 2.勉強中(就労のための資格取得,在学等)
 3.子育てのため 4.親族の介護のため 5.自分の健康上の理由
 6.就職活動をしたが条件が合う仕事がない
 7.求職活動の仕方がわからない 8.働く必要がないため
 9.その他()

A. 就労形態は、何ですか？

*2つ以上仕事をしている方は主なもの1つに○をつけて下さい

- 1.正社員 2.非常勤(契約社員含む) 3.派遣 4.自営業 5.パート・アルバイト 6.その他()

B. 現在の仕事を続けたいですか？

(○は1つ)

- ①続けたい
 ②できれば転職したい

理由は何ですか？

- 1.収入がよくない 2.自宅から勤務先まで遠い 3.子育てとの両立が困難
 4.職場の人間関係 5.健康上の理由 6.仕事の内容が自分に合っていない
 7.勤務時間が合わない 8.社会保険等が無い 9.休みが取りにくい
 10.その他()

問6 あなたは、仕事を選ぶとき何の条件を優先して決めていますか？（上位3つまで○）

- 1.収入額 2.自宅に近い 3.勤務時間 4.仕事内容に興味・関心がある 5.経験のある仕事
6.技術や資格を生かせる 7.社会保険等がある 8.子育てに理解がある 9.休みが取りやすい
10.その他（ ）

問7 区では、自立支援給付事業として、指定訓練講座の受講費用の助成や国家資格取得の際の経済的支援を行っています。あなたは、この制度を利用したことがありますか？また、利用したいですか？

①利用したことがある

②利用したことがない

利用したいですか？

(○は1つ)

1.利用したい 2.利用したいが余裕が無い (a 金銭的 b 時間的)

3.知らなかった

4. 利用したいと思わない (理由)

5. その他 ()

問8 区のひとり親家庭就労相談では、就職、転職や資格取得などについて、専門の相談員がご相談に応じえています。相談したことがありますか？また、相談したいですか？

①相談したことがある

②相談したことがない

相談したいですか？

(○は1つ)

1.相談してみたい 2.相談したいが日中仕事をしているので時間が合わない

3.他機関で相談中 (ハローワーク、はあと (東京都ひとり親家庭支援センター) など)

4.知らなかった

5.相談したくない (理由)

6.その他 ()

《ひとり親家庭就労相談》

資格や技術取得の情報提供・職業訓練紹介・ハローワークへの同行支援・相談やカウンセリング・履歴書の書き方や面接訓練等です。専門の相談員がご相談に応じます。

↓ステップアップする時↓

母子家庭等自立支援教育訓練給付事業
就職に必要な教育訓練講座を受けた場合、受講終了後にその費用の一部を助成します。

↓国家資格をとる時↓

母子家庭等高等職業訓練給付金等事業
就職に有利な看護師などの資格を取得するため、1年以上の養成機関等で修業している場合、上限3年間の経済的支援を行います。

認知・養育費など

問1(4)で「②離婚」「③事実婚解消」「④未婚」を選択した方にお伺いします。

問9 養育費は、支払われていますか？

- 1.定期的に支払われている 2.不定期だが支払われている 3.取決めをしているが、支払われていない
4.取決めをしていない 5.請求できることを知らなかった
6.その他 ()

問10 区では、家庭相談で、養育費等についての相談ができます。相談をしてみたいと思いますか？

- 1.相談をしたことがある 2.相談をしたことがないが相談をしてみたい
3.相談をしたいが日中仕事をしているため時間が合わない
4.相談をしたくない又は相談をする必要がない

理由は何ですか？

(○は1つ)

1.他の機関(弁護士・養育費支援センター等)で相談中

2.養育費が必要だと思わない

3.相談員がどんな人か分からない

4.相手と関わりたくない

5.相手と連絡が取れない

6.相手に支払い能力がない

7.養育費が支払われている

8.その他 ()

《家庭相談》 ※相談時間：月曜日～金曜日 午後1時～午後5時

☆調停申立て・法律相談を受ける前の問題整理&解決のお手伝い

◇内縁・結婚・離婚・離婚後の親子の関係

◆子の養育費・親権・認知等

◇親戚(嫁 しゅうとめ 兄弟)・隣人・友人関係のトラブル

《ひとり親家庭サポートガイド》

子ども家庭課の窓口でお渡しします。
お声かけください。

問 1 1 保育園や学童クラブ等の定期的な預け先以外に必要な応じた預け先や利用している制度はありますか？

①ある → **具体的に教えてください。** (あてはまるものすべてに○)

- 1.親や兄弟姉妹 2.友人・知人 3.ベビーシッター 4.ファミリーサポート 5.一時保育
6.ショートステイ 7.ひとり親家事援助者雇用費助成事業 8.勤め先へ連れていく
9.その他 ()

②ない → 区には、ベビーシッターの雇用費を助成する制度や一時保育等があります。
詳しくは「ひとり親相談窓口」でご相談ください。

問 1 2 区では、ひとり親家庭が一時的に、ベビーシッターやホームヘルパーを雇用する場合の雇用費助成事業
(ひとり親家庭家事援助者雇用費助成事業)を行っています。当該事業を利用したことがありますか？

①利用したことがある → **良かった点・悪かった点があれば教えてください。**

良かった点

悪かった点

②利用したことがない → **理由は何ですか？** (あてはまるものすべてに○)

- 1.子が高学年であり、ベビーシッター等が必要でない 2.利用したい時間と利用できる時間が合わない
3.ベビーシッター等を雇用(利用)することに抵抗がある 4.利用方法が分からない
5.他に預け先があるためベビーシッター等が必要でない 6.制度を知らなかった
7.その他 ()

《新宿区ひとり親家庭家事援助者雇用費助成事業》
～ベビーシッター・ホームヘルパーの雇用費助成～
主に小学生のお子さんを育てているひとり親家庭の、一時的な育児及び家事支援の事業です。利用にあたっては、**事前登録が必要**です。(所得に応じて自己負担があります。)

《ひとり親相談》
ひとり親家庭の各種問題に母子・父子自立支援員が相談に応じます。(生活・子育て・住宅等の相談・情報提供、母子生活支援施設入所の相談など。)

問 1 3 現在、あなたが困っていることや不安なことはありますか？(あてはまるもの上位3つに○)

- 1.生活費 2.仕事 3.住まい 4.家事全般 5.自分の心身の健康 6.子育て 7.親族の健康・介護
8.自分の結婚 9.人間関係(職場・地域・友人・家族・異性等 *あてはまるものに○) 10.ローンや借金
11.子どもの親(相手方)との関わり方 12.前パートナーからのつきまとい・暴力 13.社会からの孤立感
14.ひとり親家庭への理解不足 15.特になし 16.その他 ()

問 1 4 あなた自身のことで心配ごとや悩みごとがあるときに、誰かに(どこかに)相談をしますか？

①相談する→誰に(どこに)相談をしますか？ (あてはまるもの上位3つに○)

- 1.自分の親 2.自分の兄弟姉妹 3.自分の友人・知人 4.ママ友・パパ友 5.職場の同僚・上司 6.弁護士
7.かかりつけ医 8.民生委員・児童委員 9.区役所の相談窓口 10.法テラス
11.その他 ()

②相談しない→理由は何ですか？ (あてはまるもの上位3つに○)

- 1.相談できる人がいない 2.時間がない 3.相談する気がしない 4.仕事を休めない
5.相談しようと話してみたが相手にわかってもらえない 6.どこで相談できるかわからない
7.その他 ()

問15 あなたのお子さんのことで、現在悩んでいることは何ですか？その理由も教えてください。

- 1.しつけ・育て方 2.子どもの将来 3.子どもの進路（進学・就職） 4.勉強・学力 5.健康・障害
 6.子どもの友人関係 7.子どもの不登校・ひきこもり 8.子どもからの暴力 9.子どもの家事への負担
 10.子育ての精神的負担 11.子どもと過ごす時間の不足 12.教育費 13.子の預け先 14.特になし

(*) 幼（小学校入学前）・小（小学生）
 中（中学生）・15～（中学卒業後15～17歳）
 18～（18～19歳）・20～（20歳以上）

*それぞれのお子さんについて、上記のから一つだけ選んでください。
 *4人以上子どもがいる場合、第3子までご記入ください。

子	子どもの年代（○をつけてください）（*）	番号	理由
第1子	幼・小・中・15～・18～・20～		
第2子	幼・小・中・15～・18～・20～		
第3子	幼・小・中・15～・18～・20～		

《学習支援事業》区では、児童扶養手当を受給している世帯の中学生向けの学習支援事業や、小学校低学年の学習支援教室などを実施しています。ご相談ください。

問16 子育てで悩みがあるときに、誰かに（どこかに）相談をしますか？

①相談する→誰に（どこに）相談をしますか？（あてはまるもの上位3つに○）

- 1.自分の親 2.自分の兄弟姉妹 3.自分の友人・知人 4.ママ友・パパ友 5.職場の同僚・上司 6.学校
 7.教育相談 8.子どもの親（相手方） 9.かかりつけ医 10.保育園・子ども園・学童クラブ
 11.区役所の相談窓口 12.子ども総合センター・子ども家庭支援センター 13.インターネットの子育て相談サイト
 14.民生委員・児童委員 15.その他（ ）

②相談しない→理由は何ですか？（あてはまるもの上位3つに○）

- 1.相談できる人がいない 2.時間がない 3.相談する気がしない 4.仕事を休めない
 5.相談しようと話してみたが相手にわかってもらえない 6.どこで相談できるかわからない
 7.その他（ ）

問17 どうしたら、区の相談窓口が相談しやすくなると思いますか？（○は1つ）

- 1.夜間に相談できる 2.土日・祝日に相談できる 3.託児がある 4.一か所でいろいろな相談ができる
 5.専門的な相談ができる⇒具体的な専門分野（ ）
 6.その他（ ）

問18 あなたは、ひとり親家庭への支援情報をどこから入手していますか？（あてはまるものすべてに○）

- 1.区の広報紙 2.区のパンフレット 3.区のホームページ 4.区役所の相談窓口 5.保育園・学校等
 6.子ども総合センター・子ども家庭支援センター 7.保健センター 8.父母・祖父母・兄弟姉妹等の親族
 9.友人・知人からの口コミ 10.テレビ・ラジオ・新聞 11.SNS（Twitter・facebook・LINE等）・ブログ
 12.インターネットサイト（企業ホームページ・情報サイト・通販サイト等）
 13.その他（ ）

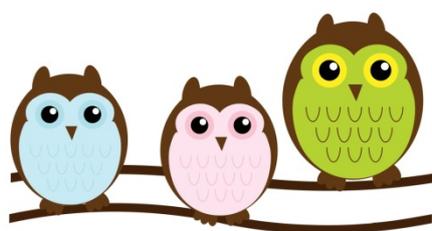
問19 あなたが、問18で入手している情報は、どんな情報ですか？

問20 その他、悩みや不安、必要と感じる支援等ありましたら、ご自由にお書きください。

書ききれない場合は、別紙に記載し、ご提出ください。

ひとり親養育ホームについては、別途アンケートを実施します。こちらをあわせてご協力ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。



2016.November
Kodomokateika